

令和 7 年 度

事業報告書

社会福祉法人 藤の実会

イ) 評議員会

(1) 第1回定時評議員会 (令和7年6月20日)

議 事

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 議案第1号 | 令和6年度社会福祉事業決算の承認について
監事監査報告 |
| 議案第2号 | 理事の選任について (並木 正芳氏) |
| 議案第3号 | 理事の選任について (新井 正則氏) |
| 議案第4号 | 理事の選任について (齋藤 高史氏) |
| 議案第5号 | 理事の選任について (片居木 健氏) |
| 議案第6号 | 理事の選任について (田端 昭彦氏) |
| 議案第7号 | 理事の選任について (涌井 勝敬氏) |
| 議案第8号 | 監事の選任について (二見 孝氏) |
| 議案第9号 | 監事の選任について (植村 里美氏) |

報告事項

- | | |
|-------|--|
| 報告第1号 | 令和6年度事業報告について |
| 報告第2号 | 埼玉県社会福祉施設等運営指導の結果 (ぷらす) |
| 報告第3号 | 埼玉県社会福祉施設等運営指導の結果 (ケアホームふじのみ) |
| 報告第4号 | 埼玉県社会福祉施設等運営指導の結果 (所沢市立ゆきわり草) |
| 報告第5号 | 埼玉県社会福祉施設等指導監査 (書面監査) の結果
(ところざわ学園) |
| 報告第6号 | 所沢市相談支援事業実地調査結果 (さぼっと) |
| 報告第7号 | 所沢市立はばたき指定管理業務における実地調査結果 |
| 報告第8号 | 所沢市立ゆきわり草指定管理業務における実地調査結果 |
| 報告第9号 | 社会福祉充実残額の算定について |

ロ) 理事会

(1) 第1回理事会 (令和7年5月30日)

議 事

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 議案第1号 | 令和6年度事業報告について |
| 議案第2号 | 令和6年度社会福祉事業決算報告について
監事監査報告 |
| 議案第3号 | 理事候補者の選定について (並木 正芳氏) |
| 議案第4号 | 理事候補者の選定について (新井 正則氏) |
| 議案第5号 | 理事候補者の選定について (齋藤 高史氏) |
| 議案第6号 | 理事候補者の選定について (片居木 健氏) |
| 議案第7号 | 理事候補者の選定について (田端 昭彦氏) |

議案第 8 号	理事候補者の選定について（涌井 勝敬氏）
議案第 9 号	監事候補者の選定について（二見 孝氏）
議案第 10 号	監事候補者の選定について（植村 里美氏）
議案第 11 号	令和 7 年度定時評議員会の招集について
議案第 12 号	評議員選任・解任委員の選任について（二見 孝氏）
議案第 13 号	評議員選任・解任委員の選任について（石井 勝彦氏）
議案第 14 号	評議員選任・解任委員の選任について（人見 勝則氏）
議案第 15 号	評議員選任・解任委員の選任について（栗原 志乃氏）
議案第 16 号	評議員選任・解任委員の選任について（荻野 司氏）
議案第 17 号	社会福祉法人藤の実会における役員等賠償責任保険の契約締結について
議案第 18 号	社会福祉法人藤の実会における自動車保険の契約締結について
議案第 19 号	ところざわ学園借用地返還に伴う樹木伐採・伐根作業の請負契約締結について
議案第 20 号	令和 7 年度 指定障害者支援施設ところざわ学園拠点区分第 1 次補正予算について
議案第 21 号	令和 7 年度 指定障害者支援施設ぷらす拠点区分第 1 次補正予算について
議案第 22 号	令和 7 年度 指定障害福祉サービス事業所 所沢市立はばたき拠点区分第 1 次補正予算について
議案第 23 号	指定障害者支援施設 ところざわ学園管理運営規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 24 号	指定障害者支援施設 ぷらす管理運営規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 25 号	指定障害福祉サービス事業所 ケアホームふじのみ管理運営規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 26 号	指定障害福祉サービス事業所「所沢市立ゆきわり草」管理運営規程の一部を改正する規程の制定について

報告事項

第 1 号	理事長決裁報告書
第 2 号	事業経営協議会報告
第 3 号	理事長業務報告
第 4 号	埼玉県社会福祉施設等指導監査（書面監査）報告（ところざわ学園）
第 5 号	所沢市立はばたき指定管理業務における実地調査結果
第 6 号	所沢市立ゆきわり草指定管理業務における実地調査結果
第 7 号	令和 7 年度評議員選任・解任委員会報告
第 8 号	令和 7 年度第 1 回運営協議会報告
第 9 号	社会福祉充実残額の算定について
第 10 号	永年勤続表彰について
第 11 号	社会福祉法人藤の実会 地域連携推進会議運営要綱について

(2) 第2回理事会 (令和7年6月20日)

議 事

議案第27号 理事長の選定について

(3) 第3回理事会 (令和7年10月30日)

議 事

議案第28号 令和7年度指定障害者支援施設ところざわ学園拠点区分第2次補正予算について

議案第29号 令和7年度指定障害者支援施設ぷらす拠点区分第2次補正予算について

議案第30号 令和7年度共同生活援助事業 ケアホームふじのみ拠点区分第1次補正予算について

議案第31号 令和7年度指定障害福祉サービス事業所 所沢市立はばたき拠点区分第2次補正予算について

議案第32号 令和7年度指定障害福祉サービス事業所 かがやき拠点区分第1次補正予算について

議案第33号 令和7年度指定障害福祉サービス事業所 きらめき拠点区分第1次補正予算について

議案第34号 社会福祉法人藤の実会 法人章の制定について

報告事項

第1号 理事長決裁報告書

第2号 事業経営協議会報告

第3号 理事長業務報告

第4号 法人中間監査報告

第5号 所沢市立はばたき指定管理業務における実地調査結果

第6号 所沢市立ゆきわり草指定管理業務における実地調査結果

第7号 埼玉県障害福祉サービス事業所等光熱費等高騰対策支援事業補助金交付決定及び確定通知書

(4) 第4回理事会 (令和8年1月30日)

議 事

議案第35号 指定障害福祉サービス事業所きらめき車両購入契約締結について

議案第36号 社会福祉法人藤の実会 支援記録システム契約締結について

議案第37号 令和7年度指定障害者支援施設ところざわ学園拠点区分第3次補正予算について

議案第38号 令和7年度指定障害福祉サービス事業所 所沢市立はばたき拠点区分第3次補正予算について

議案第39号 令和7年度指定障害福祉サービス事業所きらめき拠点区分第2次補正予算について

報告事項

第1号 理事長決裁報告書

第2号 事業経営協議会報告

第3号 理事長業務報告

第4号	埼玉県社会福祉施設等運営指導の結果（所沢市立はばたき）
第5号	所沢市相談支援事業実地調査結果（さぼっと）
第6号	所沢市立はばたき指定管理業務における実地調査結果
第7号	所沢市立ゆきわり草指定管理業務における実地調査結果
第8号	令和7年度第2回埼玉県障害福祉サービス事業所等光熱費等高騰対策支援事業補助金交付決定及び確定通知書
第9号	令和7年度 第2回運営協議会報告

（5）第5回理事会（令和8年3月13日）

議 事

議案第40号	令和7年度本部拠点区分第1次補正予算について
議案第41号	令和7年度指定障害者支援施設 ところざわ学園拠点区分第4次補正予算について
議案第42号	令和7年度指定障害者支援施設 ぷらす拠点区分第3次補正予算について
議案第43号	令和7年度共同生活援助事業 所沢市立ゆきわり草拠点区分第1次補正予算について
議案第44号	令和7年度共同生活援助事業 ケアホームふじのみ拠点区分第2次補正予算について
議案第45号	令和7年度指定障害福祉サービス事業所 所沢市立はばたき拠点区分第4次補正予算について
議案第46号	令和7年度指定障害福祉サービス事業所 かがやき拠点区分第2次補正予算について
議案第47号	令和7年度指定障害福祉サービス事業所 きらめき拠点区分第3次補正予算について
議案第48号	令和7年度埼玉県障害児等療育支援事業・所沢市相談支援事業 さぼっと拠点区分第1次補正予算について
議案第49号	社会福祉法人藤の実会 給与支給規程の一部を改正する規程の制定について
議案第50号	社会福祉法人藤の実会 経理規則の一部を改正する規則の制定について
議案第51号	埼玉県介護福祉士修学資金等貸付制度における連帯保証人について
議案第52号	相談支援事業所さぼっと 計画相談作成における相談支援システムのリース契約締結について
議案第53号	社会福祉法人藤の実会 評議員選任候補者(補欠)の推薦について (石川 正幸氏)
議案第54号	令和8年度評議員選任・解任委員会の招集について
議案第55号	令和8年度事業計画について
議案第56号	令和8年度本部拠点区分当初予算について
議案第57号	令和8年度指定障害者支援施設 ところざわ学園拠点区分当初予算について
議案第58号	令和8年度指定障害者支援施設 ぷらす拠点区分当初予算について
議案第59号	令和8年度共同生活援助事業 所沢市立ゆきわり草拠点区分当初予算について
議案第60号	令和8年度共同生活援助事業 ケアホームふじのみ拠点区分当初予算に

議案第 61 号	について 令和 8 年度指定障害福祉サービス事業所 所沢市立はばたき拠点区分当初予算について
議案第 62 号	令和 8 年度指定障害福祉サービス事業所 かがやき拠点区分当初予算について
議案第 63 号	令和 8 年度指定障害福祉サービス事業所 きらめき拠点区分当初予算について
議案第 64 号	令和 8 年度埼玉県障害児等療育支援事業・所沢市相談支援事業さぽっと拠点区分当初予算について

報告事項

第 1 号	理事長決裁報告書
第 2 号	事業経営協議会報告
第 3 号	理事長業務報告
第 4 号	埼玉県社会福祉施設等運営指導の結果（ところざわ学園）

ハ)監 査

(1) 監事監査

定例監査（令和 7 年 5 月 15 日・16 日・19 日）

中間監査（令和 7 年 10 月 16 日・17 日）

(2) 埼玉県社会福祉施設等指導監査

所沢市立はばたき（令和 7 年 10 月 15 日）

ところざわ学園（令和 7 年 12 月 3 日）

ぷらす（令和 8 年 3 月 23 日）書面監査

(3) 所沢市指定管理協定四半期監査【所沢市立はばたき・所沢市立ゆきわり草】

①令和 6 年度第 4 四半期監査（令和 7 年 4 月 23 日）

②令和 7 年度第 1 四半期監査（令和 7 年 7 月 25 日）

③令和 7 年度第 2 四半期監査（令和 7 年 10 月 28 日）

④令和 7 年度第 3 四半期監査（令和 8 年 1 月 23 日）

(4) 埼玉県障害児等療育支援事業実地調査 令和 7 年 8 月 1 日

(5) 所沢市相談支援事業実地調査 令和 7 年 11 月 5 日

ニ) 受託事業

(1) 生活介護事業・就労継続支援 B 型事業 所沢市立はばたき

(2) 共同生活援助事業 所沢市立ゆきわり草

(3) 埼玉県障害児等療育支援事業・所沢市相談支援事業さぽっと

ホ)障害福祉サービス事業

(1) 施設入所支援事業・生活介護事業・短期入所事業 ところざわ学園

(2) 施設入所支援事業・生活介護事業・短期入所事業 ぷらす

(3) 共同生活援助事業 ケアホームふじのみ

(4) 生活介護事業・就労継続支援 B 型事業 かがやき

- (5) 生活介護事業 きらめき
- (6) 所沢市日中一時支援事業 ほるん
- (7) 生活サポート事業 ふじいろ

へ) 事業経営協議会

- (1) 第1回 (令和7年4月18日)
- (2) 第2回 (令和7年5月21日)
- (3) 第3回 (令和7年6月17日)
- (4) 第4回 (令和7年7月18日)
- (5) 第5回 (令和7年8月18日)
- (6) 第6回 (令和7年9月19日)
- (7) 第7回 (令和7年10月22日)
- (8) 第8回 (令和7年11月21日)
- (9) 第9回 (令和7年12月18日)
- (10) 第10回 (令和8年1月21日)
- (11) 第11回 (令和8年2月20日)
- (12) 第12回 (令和8年3月4日)

ト) 運営協議会

- (1) 第1回 (令和7年5月21日)
- (2) 第2回 (令和8年1月14日)

チ) サービス管理責任者連絡会

(利用者支援の質の向上・事業計画推進)

- (1) 第1回 (令和7年4月11日)
- (2) 第2回 (令和7年5月9日)
- (3) 第3回 (令和7年6月13日)
- (4) 第4回 (令和7年7月11日)
- (5) 第5回 (令和7年8月8日)
- (6) 第6回 (令和7年9月12日)
- (7) 第7回 (令和7年10月10日)
- (8) 第8回 (令和7年11月14日)
- (9) 第9回 (令和7年12月12日)
- (10) 第10回 (令和8年1月9日)
- (11) 第11回 (令和8年2月13日)
- (12) 第12回 (令和8年3月11日)

リ) 衛生委員会

- (1) 第1回 (令和7年4月25日)
- (2) 第2回 (令和7年5月23日)
- (3) 第3回 (令和7年6月27日)

- (4) 第4回 (令和7年7月25日)
- (5) 第5回 (令和7年8月22日)
- (6) 第6回 (令和7年9月26日)
- (7) 第7回 (令和7年10月24日)
- (8) 第8回 (令和7年11月28日)
- (9) 第9回 (令和7年12月26日)
- (10) 第10回 (令和8年1月23日)
- (11) 第11回 (令和8年2月27日)
- (12) 第12回 (令和8年3月27日)

ヌ) 虐待防止委員会

- (1) 第1回 (令和7年4月24日)
- (2) 第2回 (令和7年5月22日)
- (3) 第3回 (令和7年6月26日) ※身体拘束適正化委員会
- (4) 第4回 (令和7年7月24日)
- (5) 第5回 (令和7年8月28日)
- (6) 第6回 (令和7年9月25日) ※身体拘束適正化委員会
- (7) 第7回 (令和7年10月23日)
- (8) 第8回 (令和7年11月27日)
- (9) 第9回 (令和7年12月25日) ※身体拘束適正化委員会
- (10) 第10回 (令和8年1月22日)
- (11) 第11回 (令和8年2月26日)
- (12) 第12回 (令和8年3月26日) ※身体拘束適正化委員会

ル) 運営会議

(各事業所報告・会議報告・スケジュール調整)

- (1) 第1回 (令和7年4月11日)
- (2) 第2回 (令和7年5月9日)
- (3) 第3回 (令和7年6月13日)
- (4) 第4回 (令和7年7月11日)
- (5) 第5回 (令和7年8月8日)
- (6) 第6回 (令和7年9月11日)
- (7) 第7回 (令和7年10月10日)
- (8) 第8回 (令和7年11月13日)
- (9) 第9回 (令和7年12月12日)
- (10) 第10回 (令和8年1月9日)
- (11) 第11回 (令和8年2月13日)
- (12) 第12回 (令和8年3月11日)

ヲ) 職員退職

(正規職員)

1名	令和7年4月14日付	(ぶらす)
1名	令和7年6月30日付	(ぶらす)
1名	令和7年7月31日付	(きらめき)
1名	令和7年8月20日付	(ところざわ学園)
1名	令和7年8月23日付	(ところざわ学園)
1名	令和7年9月30日付	(ところざわ学園)
1名	令和7年12月15日付	(ところざわ学園)
1名	令和7年12月31日付	(かがやき)
4名	令和8年3月31日付	(ところざわ学園)
1名	令和8年3月31日付	(ぶらす)

(契約職員)

1名	令和7年5月31日付	(ところざわ学園)
1名	令和7年7月31日付	(ところざわ学園)
1名	令和7年9月30日付	(さぼっと)
1名	令和8年3月15日付	(さぼっと)
1名	令和8年3月31日付	(ところざわ学園)

(非常勤職員)

1名	令和7年7月31日付	(ぶらす)
1名	令和7年9月30日付	(ぶらす)
1名	令和7年11月15日付	(ところざわ学園)
1名	令和7年12月25日付	(ケアホームふじのみ)
1名	令和7年12月31日付	(ところざわ学園)
1名	令和7年12月31日付	(所沢市立ゆきわり草)
1名	令和8年1月31日付	(ケアホームふじのみ)
1名	令和8年2月6日付	(所沢市立はばたき)
1名	令和8年2月28日付	(ところざわ学園)
2名	令和8年3月15日付	(ぶらす)
1名	令和8年3月31日付	(ぶらす)
1名	令和8年3月31日付	(所沢市立はばたき)
3名	令和8年3月31日付	(ケアホームふじのみ)
1名	令和8年3月31日付	(かがやき)

ワ) 職員採用

(正規職員)

ぶらす	2名	令和7年4月1日付
所沢市立はばたき	1名	令和7年4月1日付
ところざわ学園	2名	令和7年7月1日付
ぶらす	1名	令和7年8月1日付
ところざわ学園	1名	令和7年10月1日付

(契約職員)

ところざわ学園	1名	令和7年4月1日付
ぷらす	1名	令和7年4月1日付
ところざわ学園	1名	令和8年3月1日付

(非常勤職員)

ぷらす	1名	令和7年4月1日付
かがやき	1名	令和7年4月1日付
ケアホームふじのみ	1名	令和7年4月1日付
所沢市立はばたき	1名	令和7年4月16日付
ケアホームふじのみ	1名	令和7年4月16日付
所沢市立はばたき	1名	令和7年5月1日付
ところざわ学園	3名	令和7年6月16日付
ぷらす	3名	令和7年6月16日付
ぷらす	1名	令和7年7月1日付
ぷらす	1名	令和7年8月1日付
ぷらす	1名	令和7年8月16日付
さぼっと	1名	令和7年9月1日付
ところざわ学園	1名	令和7年9月16日付
ところざわ学園	1名	令和7年11月1日付
ところざわ学園	2名	令和7年12月1日付
ところざわ学園	1名	令和8年1月1日付
所沢市立ゆきわり草	1名	令和8年1月1日付
所沢市立はばたき	1名	令和8年2月9日付
かがやき	1名	令和8年3月1日付
ケアホームふじのみ	1名	令和8年3月1日付

カ) 職員健康診査 6月・12月(年2回)

第1回目 職員 97名受診

(通所系事業所職員 62名/夜間勤務職員 35名)

内 訳

(所沢市立はばたき 31名/かがやき 12名/きらめき 11名/

所沢市立ゆきわり草 4名/さぼっと 4名)

(ところざわ学園 14名/ぷらす 16名/ケアホームふじのみ 5名)

第2回目 職員 96名受診

(ところざわ学園 33名/ぷらす 36名/かがやき 1名/

さぼっと 1名/ケアホームふじのみ 25名)

ヨ) 法人報の発行

- (1) 第 97 号 (令和 7 年 5 月 1 日)
- (2) 第 98 号 (令和 7 年 9 月 1 日)
- (3) 第 99 号 (令和 7 年 11 月 1 日)
- (4) 第 100 号 (令和 8 年 1 月 1 日)

タ) 表彰

(1) 所沢市社会福祉大会

(推薦) 法人への寄付 5 万円以上
勤続 10 年

東所沢二丁目自治会

入野敏明・中村仁美・將基 舜・八巻沙也佳

(2) 埼玉県社会福祉大会

会長表彰 (勤続 15 年)

串田麻結・東郷百合江・玉木麻衣子・

今野正子・吉田喜代子

知事表彰 (勤続 18 年)

佐藤由美・野村直子・関口祐美・丸山久美子

(3) 勤続 20 年

佐藤由美・野村直子

レ) 職員研修

(1) 階層別研修

新任職員研修 (法人内) 9 名

中堅職員研修 2 名

新任職員フォローアップ研修 7 名

(2) 資格取得研修

強度行動障害支援者養成研修 (基礎) 1 名

強度行動障害支援者養成研修 (実践) 2 名

サービス管理責任者基礎研修 3 名

サービス管理責任者実践研修 1 名

衛生推進者講習 1 名

(3) その他研修

労務管理者研修 3 名

ハラスメント防止研修 4 名

介護技術研修 21 名

記録の書き方・ブルーオーシャン研修 38 名

身体拘束適正化についての研修 10 名

虐待防止・権利擁護研修 (所沢市障害のある人もない人も共に
生きる社会づくり条例について) 37 名

障害者支援施設 全国大会東海地区愛知大会 4 名

障害者支援施設部会現場職員向け情報交換会 1 名

不適応行動への基本的な対応 20 名

自立支援協議会研修 9 名

所沢市自立支援協議会 相談支援部会研修会 4 名

所沢市自立支援協議会 就労継続支援 B 型連絡会 3 名

埼玉県医療的ケア児等コーディネーター研修会	1 名
医療的ケア児等コーディネーター研修	1 名
医療的ケア児の防災訓練	1 名
成年後見人制度研修	2 名
職場内コミュニケーション研修	8 名
グループホーム職員連絡会	3 名
秘密情報の適正な取扱いに資するための研修	36 名
発達障害オンライン講演会	2 名
意志決定支援に関する研修	15 名
接遇研修（オンライン研修）	13 名
救命救急講習	20 名
安全運転講習	10 名
食の安心ポイントセミナー	1 名
口腔ケア研修	6 名
レザークラフト作業技術研修	6 名
陶芸研修	6 名
低栄養・摂食嚥下に関する研修	22 名
腰痛予防対策研修	20 名
災害に関する研修	30 名
非常災害時の対応に関する研修・地震対策	ケアホームふじのみ職員
感染症予防対策研修	各事業所において実施
感染症対策指針及び身体拘束適正化のための指針研修	各事業所において実施
サポーターズカレッジ（動画）視聴研修	各事業所において実施

令和7年度 事業報告

法人本部（法人事務局および事業部）

- 法人の課題：利用者・地域の要請に応える
- 令和7年度の目標：第4次中長期計画の推進
- メインテーマ：利用者支援の楽しさ発信

- 法人の課題：利用者・地域の要請に応える
- 令和8年度の目標：第4次中長期計画の推進
- メインテーマ：法人基盤の再構築～職場活性化～

項目	令和7年度事業計画	令和7年度事業報告	令和8年度事業計画
1 中長期計画	施策：第4次中長期計画の推進 【法人事務局】 ◇第4次中長期計画推進 ・ところざわ学園大規模修繕を見据えた資金計画および実施計画推進 ◇中長期的な職員賃金体系の見直しの継続 ・令和7年度ベースアップ等処遇改善検討 【事業部】 ◇法人各事業の計画達成に向けた推進 ・ところざわ学園大規模修繕計画推進担当を選定し、具体的な修繕計画を推進 ・対象補助金確認	【法人事務局】 ◇第4次中長期計画推進 【課題】 ・ところざわ学園老朽化に伴う大規模修繕を見据えた資金計画および実施計画について検討中 ◇中長期的な職員賃金体系の見直しの継続 【実績】 ・令和8年度4月ベースアップ実施 ・施設入所支援手当の新設（令和8年4月） 【事業部】 ◇法人各事業の計画達成に向けた推進	施策：第4次中長期計画の推進 【法人事務局】 ◇第4次中長期計画推進 ・ところざわ学園大規模修繕を見据えた資金計画および実施計画策定 ◇中長期的な職員賃金体系の見直しの継続 ・令和8年度ベースアップ等処遇改善検討 ・手当新設の検討 ・業務委託業者の精査および選定 【事業部】 ◇法人各事業の計画達成に向けた推進 ・ところざわ学園大規模修繕計画推進担当を選定し具体的な修繕計画策定 ・通所事業所利用者定員達成推進 ・合同説明会継続実施および対象拡大検討

	【共通】 施策：人材育成および定着促進 内容 ◇キャリアパス制度の運用 ・キャリアパス制度の精査 ・昇格基準の明確化 ・評価者研修の実施 ◇人材育成推進 ・研修委員会による研修継続 ・接遇研修実施 ・次世代リーダーの育成 ◇法人設立40周年記念 ・記念パネルおよび記念誌作成 ・法人ロゴおよび記念品作成 ・記念行事の開催 【法人事務局】 施策：積極的な人材の確保、働き続けられる職場環境の整備 内容： ◇採用計画推進 ・変則勤務者の確保 ・シニア世代の採用 ・離職率 8%目標 ◇人材確保 ・各種求人媒体の活用 (インターネット求人サイト、ハロー	【共通】 施策：人材育成および定着促進 ◇人材育成推進 ・研修委員会による研修実施 【効果】 研修マニキュアルによる新任職員育成 実施による支援に関する基礎知識の 獲得 ・接遇研修実施 13名 ・次世代リーダーの育成 ◇法人設立40周年記念 ・記念パネルおよび法人章作成 ・記念誌発行(3月) ・法人祭にて記念セレモニー実施 記念品制作(パーカー、トートバッグ、 タンブラー)、太鼓用法被制作 ◇採用計画推進 【実績】 ・令和7年度採用人数 35名 (正規職員 7名、契約職員 3名、 非常勤職員 25名) ・離職率 令和3年3月現在 18.8% 正規職員：14.4%、 契約職員：16.6%、 非常勤職員：26.6%	【共通】 施策：人材育成および定着促進 内容 ◇キャリアパス制度の運用 ・キャリアパス制度の精査 ・昇格基準の明確化 ・評価者研修の実施 ◇人材育成推進 ・研修委員会による研修継続 ・接遇研修実施(6月、動画研修) ・次世代リーダーの育成 ・支援研究発表実施 ・事業所間交換研修の実施(9月) 【法人事務局】 施策：積極的な人材の確保、働き続けられる職場環境の整備 内容： ◇採用計画推進 ・変則勤務者の確保 ・シニア世代の採用 ・離職率 8%目標 ◇人材確保 ・各種求人媒体の活用 (インターネット求人サイト、ハロー
--	--	--	---

	ワーク、新聞折り込みチラシ等） ・採用担当者の選任および育成 ◇法人ネットワーク環境整備 ・支援記録システムの活用および追加導入検討 ・クラウド型データ管理の検討継続 ◇SNS等の利用による法人情報の積極的発信継続 ◇外国人人材確保に向けた検討および推進 ・外国人雇用に関する情報収集 ◇法人ネットワーク環境整備 ・支援記録システムの活用 ・クラウド型データ管理の検討 ◇職員定着に向けた取り組み ・健康経営に関する取り組み推進 メンタルカウンセリング（カウンセラー）の導入、健康診断再検査勧奨 ・職員の子ども達の職場体験 ・管理者向け育児・介護休業に関する研修およびハラスメント研修実施 ・業務効率化のためのＩＴ化推進 ・給与明細データ化の検討	ワーク、新聞折り込みチラシ等） ・採用担当者の選任および育成継続 ・学校訪問による地域連携推進および発信強化 ◇法人ネットワーク環境整備 ・支援記録システムの活用 ・クラウド型データ管理の検討 ◇SNS等の利用による法人情報の積極的発信継続 ◇外国人人材確保に向けた検討および推進 ・外国人雇用に関する情報収集 ・外国人雇用にもつけた法人内制度の整備 ◇職員定着に向けた取り組み ・健康経営に関する取り組み推進 メンタルカウンセリング（カウンセラー）の導入、付加健診実施継続による受診率向上 ・管理者向け育児・介護休業に関する研修およびハラスメント研修実施 ・業務効率化のためのＩＴ化推進（年末調整システム導入検討） ・給与明細デジタル化の実施（４月開始）
【課題】 離職率改善にむけた取組推進 ◇人材確保 【実績】 ・インターネット求人利用（マイナビ転職、知的障害者支援員おしごと.net） ・新規採用担当者による地域就職相談会等への参加（相談会１件、専門学校２件、短期大学１件） ◇法人ネットワーク環境整備 ・支援記録システム（ブルーオーシャンシステム）の活用 はばたき：全面移行完了（利用者個人記録、支援計画表、モニタリング表、介護等給付費等請求） ところざわ学園及びぶらす：利用者個人記録等移行完了。入所および短期入所の介護等給付費等請求との連携について試行継続 かがやき及びきらめき令和８年度導入開始 データ共有および写真活用による業務効率改善 ・クラウド型データ管理の検討継続 ◇外国人人材確保に向けた検討および推進 【実績】	ワーク、新聞折り込みチラシ等） ・採用担当者の選任および育成 ◇法人ネットワーク環境整備 ・支援記録システムの活用および追加導入検討 ・クラウド型データ管理の検討継続 ◇SNS等の利用による法人情報の積極的発信継続 ◇外国人人材確保に向けた検討および推進 ・外国人雇用に関する情報収集 ◇法人ネットワーク環境整備 ・支援記録システムの活用 ・クラウド型データ管理の検討 ◇職員定着に向けた取り組み ・健康経営に関する取り組み推進 メンタルカウンセリング（カウンセラー）の導入、健康診断再検査勧奨 ・職員の子ども達の職場体験 ・管理者向け育児・介護休業に関する研修およびハラスメント研修実施 ・業務効率化のためのＩＴ化推進 ・給与明細データ化の検討	ワーク、新聞折り込みチラシ等） ・採用担当者の選任および育成継続 ・学校訪問による地域連携推進および発信強化 ◇法人ネットワーク環境整備 ・支援記録システムの活用 ・クラウド型データ管理の検討 ◇SNS等の利用による法人情報の積極的発信継続 ◇外国人人材確保に向けた検討および推進 ・外国人雇用に関する情報収集 ・外国人雇用にもつけた法人内制度の整備 ◇職員定着に向けた取り組み ・健康経営に関する取り組み推進 メンタルカウンセリング（カウンセラー）の導入、付加健診実施継続による受診率向上 ・管理者向け育児・介護休業に関する研修およびハラスメント研修実施 ・業務効率化のためのＩＴ化推進（年末調整システム導入検討） ・給与明細デジタル化の実施（４月開始）

	【事業部】 施策：高品質のサービス提供を担える人材の育成 ◇研修委員会と連携した研修の体系化 推進および支援方針の確立 ◇サービス管理責任者の育成 ◇障害理解の推進 ・強度行動障害支援者養成研修参加 推進 ・虐待防止、権利擁護研修の実施 ◇資格の取得促進 ・介護福祉士資格取得者 2名目標 （法人全体で資格保持者 25%目標）	外国人雇用に関する情報収集 ・新日本学院より8名（非常勤職員）採用 ◇職員定着に向けた取り組み 【課題】 ・健康経営に関する取り組み推進 メンタルカウンセリング（カウンセラ ー）の導入検討にむけ、医務を中心に 推進予定 ・職員の子どもの職場体験 【実績】 12月26日実施済 12名参加 ・給与明細デジタル化の実施 （4月開始にむけた試行実施） ◇資格の取得促進 【実績】 ・資格取得補助制度について再周知実施 法人全体で資格保持者 38名 23.0%（令和8年3月現在） 新規介護福祉士資格取得者 3名 ・強度行動障害支援者養成研修参加 基礎研修 1名、実践研修 2名 秩父学園職員研修 不適用行動への 基本的な対応について 20名参加 強度行動障害支援推進官の派遣を 秩父学園に依頼（ところざわ学園、 かがやき）	・セカンドライフセミナーの実施 ・給与の仕組み研修（6月） 【事業部】 施策：高品質のサービス提供を担える人材の育成 ◇研修委員会と連携した研修の体系化 推進および支援方針の確立 ・サービス管理責任者と連携した支援 部研修計画作成 ◇サービス管理責任者の育成および計 画的な更新 ◇障害理解の推進 ・強度行動障害支援者養成研修参加 推進 ・虐待防止、権利擁護研修の実施 ◇資格の取得促進 ・介護福祉士資格取得者 2名目標 （法人全体で資格保持者 25%目標） ・資格取得補助制度定期周知実施 （4月・10月）
--	---	--	---

3 法人組 織力の 強化	【共通】 (1) 会議計画 施策：法人としての意思統一及び質の高いサービスの提供を行うための目的を明確化した効率的且つ成果のある会議の開催 内容： ◇各種委員会の活用 ・研修委員会、防災対策委員会、感染症対策委員会、虐待防止委員会、広報委員会実施継続 ・緊急時ネットワークの検討及び導入 情報共有ツールの活用（ラインワークス試行および検討）	【効果】 強度行動障害に関する理解の向上 および支援スキルの向上 【共通】 (1) 会議計画 ◇各種委員会の活用 ・緊急時ネットワークの検討および導入 【実績】 情報共有ツールの試験運用（管理職） 【課題】 情報共有ツールの活用（グループウェアの導入）に向け検討推進	【共通】 (1) 会議計画 施策：法人としての意思統一及び質の高いサービスの提供を行うための目的を明確化した効率的且つ成果のある会議の開催 内容： ◇各種委員会の活用 ・研修委員会、防災対策委員会、感染症対策委員会、虐待防止委員会、広報委員会実施継続 ・緊急時ネットワークの検討及び導入 情報共有ツールの活用（ラインワークスの試行範囲拡大）	(2) 法令遵守 施策：適切な運営体制の確立 内容： ◇事故防止体制の強化 ・防犯研修の実施、備品整備 ・安全運転研修の継続実施 ◇防災体制の強化 ・初動3日間の具体的な防災体制の確立	(2) 法令遵守 ◇事故防止体制の強化 【実績】 ・安全運転研修実施 車両管理者向け研修として動画視聴実施（3月） ・公用車事故 上半期1件（物損1件） 下半期4件（物損4件） ◇防災体制の強化 【実績】	(2) 法令遵守 施策：適切な運営体制の確立 内容： ◇事故防止体制の強化 ・防犯研修の実施、備品整備 ・安全運転研修の継続実施 ◇防災体制の強化 ・BCP 策定委員会による法人全体の防災体制および防災備品の見直し
-----------------------	---	--	---	--	--	---

	・防災備品整備および管理方法見直し ・防災訓練および研修の継続実施 ◇感染症対策および体制の強化 ・感染症対策 BCP（事業継続計画）の更新 ・初動時のマニュアル見直し	・防災備品整備および管理方法見直し 防災倉庫備品および非常食整備実施 ・非常災害対策計画策定（11月） ◇感染症対策および体制の強化 ・感染症対策 BCP（事業継続計画）の更新実施	・防災訓練および研修の継続実施 ◇感染症対策および体制の強化 ・感染症対策 BCP（事業継続計画）の更新
	（３）地域貢献および連携推進 【法人事務局】 施策：社会福祉法人による公益的な取り組みの推進 ◇地域貢献および連携継続 ・創作棟店舗活用方法検討（例）子ども食堂の開催 ・ボランティアの積極的な受け入れ ◇藤の実会事業所及び市内福祉施設、近隣町内会等との交流の場の設置 ・地域連携推進会議の実施	（３）地域貢献および連携推進 【課題】 ・新たな交流の場としての具体的な地域貢献案の検討及び推進 ◇地域貢献および連携継続 【実績】 ・創作棟店舗使用イベント開催（かがやき）約20名来園 ・ところざわ学園作品展実施 ◇藤の実会事業所及び市内福祉施設、近隣町内会等との交流の場の設置 【実績】 ・地域連携推進会議対象事業所実施済み 法人ホームページにおいて議事録公表済み	（３）地域貢献および連携推進 【法人事務局】 施策：社会福祉法人による公益的な取り組みの推進 ◇地域貢献および連携継続 ・創作棟店舗活用方法検討（例）子ども食堂の開催 ・ボランティアの積極的な受け入れ ◇藤の実会事業所及び市内福祉施設、近隣町内会等との交流の場の設置 ・地域連携推進会議の実施継続

令和7年度 事業報告

指定障害者支援施設 ところざわ学園

- 中長期の課題：意思決定支援の確立
- 令和7年度の目標：意思決定支援の理解を深める
- メインテーマ：自分の想いを伝えよう

- 中長期の課題：意思決定支援の充実
- 令和8年度の目標：主体的生活力の向上
- メインテーマ：「ありがとう」にあふれた暮らし

項目	令和7年度事業計画	令和7年度事業報告	令和8年度事業報告
1 個別支援計画	施策：意思決定支援の推進に基づく個別支援計画の作成 内容： ・各利用者の個別支援計画について理解を深める（個別支援計画一覧表の作成） ・サービス等利用計画に基づいた個別支援計画の作成及び相談事業所とのモニタリング協議の実施 ・個別支援計画の進捗確認（支援会議） ・意思決定支援記録の共有（意思決定支援場面の個人記録への記入） ・日中サービス利用のための他事業所との協議の実施 ・保護者後見人を対象とした法人内他事業所見学会の実施	施策：意思決定支援の推進に基づく個別支援計画の作成 実績： ・各利用者の個別支援計画について理解を深める（個別支援計画一覧表の作成） ・サービス等利用計画に基づいた個別支援計画の作成及び相談事業所とのモニタリング協議の実施 ・個別支援計画の進捗確認（支援会議） ・意思決定支援記録の共有（随時） ・日中サービス事業所との協議（7月）他事業所見学、実習の実施（7月・1月） 効果： ・日中サービス事業所のイメージの共有 課題： ・利用者の地域移行 ・記録システムの活用	施策：地域移行支援の推進 内容： ・日中サービス利用にともなう他事業所との調整協議の実施 ・利用者、保護者、後見人対象の日中サービス事業所見学の実施 ・利用体験（実習） 施策：直接支援を充実するための業務軽減 内容： ・記録システムによる個別支援計画及びモニタリングの作成

	(1) 施設入所支援事業 施策：快適で安心できる生活の提供 内容： ◇利用者特性を考慮した居室編成 間仕切りを活用した個別空間の確保 居室の環境整備 - カーテン、カーテンレール及び網戸の修繕 - 収納扉の修繕	(1) 施設入所支援事業 施策：快適で安心できる生活の提供 実績： ◇利用者特性を考慮した居室編成 間仕切りを活用した個別空間の確保 居室の環境整備 - 収納扉の修繕（9月） - 利用者特性を考慮した居室編成実施（10月） - カーテン、レール入替（3月） 効果： - 生活空間の質の向上 課題： - 利用者の主体的生活力の質の向上 ◇利用者の意思決定についての理解を深める 実績： - 意思決定支援に関する協議（5月、8月）及び研修実施（10月、12月） - サポーターズカレッジの活用 効果：支援知識の向上 ◇寮環境の整備 実績： - 修繕箇所把握、計画的な修繕 - 臭気対策の実施 4 寮トイレオゾン脱臭機設置 - 居室脱臭機試行（8月） - 各寮、食堂、浴室備品のメンテナンス（毎月）	(1) 施設入所支援事業 施策：主体的生活力の質の向上 内容： - 利用者間の共助支援の促進 - 日常生活での役割を実感できるような声かけ、誘導支援の促進 - 地域連携推進会議の実施（7月）
2	活動支援 ◇利用者の意思決定についての理解を深める - 意思決定支援に関する協議及び研修の実施（6、9、12月） - サポーターズカレッジの活用 ◇寮環境の整備 - 修繕箇所把握、計画的な修繕 - 臭気対策の実施 - 各寮ホール、トイレの清掃（チェック表を活用した清掃箇所の共有） - 業者によるトイレ清掃の実施 - 各寮、食堂、浴室備品のメンテナンス		

	(毎月) ◇事故防止のための取り組み ・ヒヤリハット、事故報告書の共有 (ヒヤリハット月1回、事故報告書都度) (原因分析、再発防止策の周知)	効果：衛生環境の維持 課題：建物老朽化による全面改修 ◇事故防止のための取り組み ・ヒヤリハット、事故報告書の共有 (毎月) ・服薬に関する手順書の見直し、周知 効果： ・リスクマネジメントの再確認 課題： ・再発防止策の継続的共有 施策：入所系事業所間の連携 内容： ・ぶらす夜間支援状況把握のための研修 (2月)	◇事故防止のための取り組み 施策：事故再発防止策の継続的共有 内容： ・職員間の報告連絡相談の徹底 (毎日) ・記録システムの活用による引継徹底 (毎日)
活動支援	(2) 生活介護事業 施策：安定した日中活動の提供 ：職員全体での日中活動の実施 内容： ・利用者日中活動内容のスケジュールの提示 (週間・月間予定の提示) ・体力維持向上のための運動の機会の設定 ・利用者の個性を活かした製品の製作販売 (フラワーボックス、ポチ袋、カレンダー等) ・製品づくりに関する研修への参加 ・利用者作品展示機会の設定	(2) 生活介護事業 施策：安定した日中活動の提供 ：職員全体での日中活動の実施 実績： ・利用者日中活動内容のスケジュールの提示 (週間・月間予定の提示) ・体力維持向上のための運動の機会の設定 (ウォーキング・運動療法・ボクササイズ・エアロビクス・プール・ボウリング大会) ・利用者の個性を活かした製品の製作販売 市民フェスティバル (10月) ・利用者作品展示機会の設定 中富郵便局 (7月)	(2) 生活介護事業 施策：目的をもった日中活動の提供 内容： ・体力維持 ◇ウォーキング ◇運動療法 ・収益 ◇リサイクル分解・納品 ◇カレンダー制作 ・保護者交流 ◇懇談会 (6月) ◇法人祭 (11月) ・社会参加 ◇一日外出 (年1回)

	(例：旧つむぎを活用した作品展など) ◇行事の提供 ・季節に合わせた行事の実施 ・保護者会と連携した行事の実施 (法人祭、クリスマス会、新年会、納会) ・日帰り旅行の実施 (年 2 回) ◇保護者、外部に向けた情報発信 ・保護者懇談会の実施 ・保護者交流行事の実施 ・正門前掲示板の活用 ・法人ホームページ活用 ※ブログの定期的な更新 ・特別講座の発表の場の確保 ※音楽療法⇒クリスマス会 ※太鼓⇒法人祭、新年会 ※絵画、書道⇒作品展 (3) 短期入所 施策：緊急性の高い利用者の受け入れ 内容： ・利用希望者の把握 ・地域生活支援拠点の役割としての緊急性の高い利用者の受け入れ	所沢市障害者作品展 (12 月) 絵画教室「つみぎ展」 (2 月) つむぎ展示 (3 月) ◇行事の提供 ・季節に合わせた行事の実施 ◇春を楽しむ会 (4 月) 夏を楽しむ会 (7・8・9 月) わんこそば体験 (7 月) 芋煮会 (11 月) 新年会 (1 月) 焼き芋会 (2 月) ・保護者会と連携した行事の実施 ◇法人祭 (11 月) クリスマス会 (12 月) 節分 (2 月) 納会 (3 月) ・日帰り旅行の実施 (6 月・11 月・12 月・1 月) ・保護者懇談会の実施 (6 月) ・正門前掲示板の活用 (毎月) ・法人ホームページ活用 ※ブログの定期的な更新 ・特別講座の発表の場の確保 ※音楽療法⇒クリスマス会 (12 月) ※太鼓⇒法人祭、新年会 (11 月・1 月) ※絵画、書道⇒作品展 (7 月・1 月) (3) 短期入所 施策：緊急性の高い利用者の受け入れ 実績： ・利用希望者の把握 見学 10 件 (新規利用契約 7 件)	◇ボウリング大会 (6 月) ◇市民フェスティバル (10 月) ・発表 ◇音楽療法 (クリスマス会 12 月) ◇太鼓 (法人祭 11 月、新年会 1 月) ◇絵画、書道 (作品展 9・12 月) ・発信 ◇ブログの定期更新 (年 2 回) ◇学園だより (年 2 回) (3) 短期入所 施策：状況に応じた柔軟な受入れ 内容： ・入居利用者の生活状況、感染症等環境状況を考慮した利用受入れ ・地域生活支援拠点としての緊急受入れ
活動支援			

	・在籍利用者の生活を考慮した受け入れ (状況に応じ適時実施) 効果： ・ニーズの把握、適切な受け入れ 課題： ・長期利用者の方向性の確認	・在籍利用者の生活を考慮した受け入れ (状況に応じ適時実施) 効果： ・ニーズの把握、適切な受け入れ 課題： ・長期利用者の方向性の確認	
3 健康	●食事面から考える健康管理 施策： ・栄養マネジメントの実施 ・利用者の食事量、食形態の確認 内容： ・利用者に合わせた食事量、内容、提供方法の検討、試行、提供 ・調理委託業者との協議 (定例：月1回) ・給食協議の実施、支援会議での共有 ・情報板の設置（食事方法、提供方法、注意事項） ●体調不良の早期発見及び感染症対策 施策： ・健康診断結果の分析と有効活用 ・健康管理担当者（職務分掌）を対象とした口腔衛生に関する研修の実施 ・エビペン使用方法体験の実施 実施策：感染症対応のマニュアル化	●食事面から考える健康管理 施策： ・栄養マネジメントの実施 ・利用者の食事量、食形態の確認 実績： ・利用者に合わせた食事量、内容、提供方法の検討、試行、提供 (随時実施) ・調理委託業者との協議（毎月） ・給食協議の実施、支援会議での共有（毎月） ・情報板の設置（食事方法、提供方法、注意事項）食堂・事務所掲示版 効果： ・個別ニーズ対応の促進 ●体調不良の早期発見及び感染症対策 施策： ・利用者の健康状態の適切な把握 ・口腔衛生研修（1月） ・エビペン使用方法の研修実施（1月支援会議） 効果：知識の習得 課題：観察力の強化 施策：感染症対応のマニュアル化	●食事面から考える健康管理 施策：健康管理 内容： ・栄養士、看護師を中心とした運動、精神面とのバランスを考慮した栄養マネジメントの実施 ・調理委託業者との協議（毎月） ●体調不良の早期発見及び感染症対策 施策：ケア観察力の強化 内容： ・集中ケア体制の確立 ・モーニングケア（身だしなみ、健康チェック、居室整備）時の職員体制充実（毎日） ・入所医務交換研修実施

	内容： ・感染症発生時の手順書の作成、対応方法の周知（支援会議） ・嘔吐物処理方法研修 施策：確実な服薬支援の実施 内容： ・服薬支援方法の確認 ・サービス管理責任者による全職員を対象とした服薬支援方法の確認（全体研修）	内容： ・感染症発生時の対応方法の周知（支援会議） ・嘔吐物処理方法研修（12月支援会議） ・コロナウイルス感染症、インフルエンザ罹患者発生時のゾーニング実施 施策：確実な服薬支援の実施 内容： ・服薬支援方法の確認 ・服薬手順書の見直し、周知（12月）	施策：確実な服薬支援の実施 内容： ・服薬支援方法の確認（4月）
4 環境	施策：居住、支援環境の向上 内容： ・記録システム操作方法研修の実施及び記録システムの運用 ・記録システム導入に伴う、支援員室の整備、文書の整理 ・修繕計画の作成、更新 ・修繕必要箇所の把握、修繕 ・1 寮個室トイレ仕切り板改修 ・4 寮ベランダ整備 ・作業棟の環境整備 ・4 寮ホールテレビ修繕 ・食堂、1 寮床の年 2 回業者清掃 ・業者によるトイレ清掃の実施	実績： ・記録システム操作方法研修の実施（6月）及び記録システムの運用（7月） ・記録システム導入に伴う、支援員室の整備、文書の整理（7月） ・作業棟の環境整備（6月） ・4 寮ベランダ修繕（7月） ・4 寮ホールテレビ（7月） ・業者による食堂、3 寮玄関、浴室前床清掃（11月） ・4 寮ベランダ目隠しシート設置（12月） ・3、4 寮東側エアコン室外機部品交換（12月） ・4 寮乾燥機交換工事（1月）	施策：居住、支援環境の向上 内容： ●計画的修繕の実施 ・1、2 寮照明 LED 修繕 ・3、4 寮 GHP 修繕 ・厨房窓修繕および厨房機器入替 ●業者クリーニングの実施 ・食堂、ホール、廊下、居室の浄化対応（年 1 回） ・トイレの消臭対応（年 2 回）

	・104号室、1寮支援員室、女性休憩室置換（2月） 施策：地域との連携 実績： ・実習生（11名） ・ボランティア受け入れ（市民フェスティバル2名、法人祭1名、夏休みボランティア1名） ・施設前の環境美化実施 ・つむぎを活用した作品展（3月） 効果： ・障害者理解の促進 課題 ・老朽化箇所の計画的修繕の実施	・104号室、1寮支援員室、女性休憩室置換（2月） 施策：地域との連携 実績： ・実習生（11名） ・ボランティア受け入れ（市民フェスティバル2名、法人祭1名、夏休みボランティア1名） ・施設前の環境美化実施 ・つむぎを活用した作品展（3月） 効果： ・障害者理解の促進 課題 ・老朽化箇所の計画的修繕の実施	・104号室、1寮支援員室、女性休憩室置換（2月） 施策：地域との連携 実績： ・実習生（11名） ・ボランティア受け入れ（市民フェスティバル2名、法人祭1名、夏休みボランティア1名） ・施設前の環境美化実施 ・つむぎを活用した作品展（3月） 効果： ・障害者理解の促進 課題 ・老朽化箇所の計画的修繕の実施
5 人材育成	●中長期計画実現に向けた人材育成 施策：研修受講による支援スキルの向上 内容： ・介護技術研修の実施 ・精神障害利用者支援研修の受講 ・意思決定支援研修の受講 ・職員全体研修（4月・10月） ・接遇研修 ・記録の書き方研修 ・強行行動障害支援者養成研修（未受講者） ・コミュニケーション研修	●中長期計画実現に向けた人材育成 施策：研修受講による支援スキルの向上 実績： ・接遇研修（意識周知）（5月）8名 ・職員全体研修（6月）20名 ・記録の書き方研修（6月）20名 ・強行行動障害支援者養成研修（未受講者）対象者なし ・コミュニケーション研修（7月）8名 ・障害者支援施設部会全国大会（12月）3名 効果： ・支援知識の習得	●中長期計画実現に向けた人材育成 施策：研修受講による支援スキルの向上 内容： ・外部研修への参加 ・安全管理（服薬・感染症・防災）研修（各2回）

	施策：職務分掌の精査 内容： ・役割分担の再確認 ・役割分担内容の書面化	施策：職務分掌の精査 実績： ・役割分担の再確認（6月） ・役割分担内容の書面化（6月） 効果： ・利用者理解の向上 ・ポイントを押さえた支援効率向上 課題 ・外部研修の活用	
--	---	---	--

令和7年度 事業報告

所沢市障害児（者）日中一時支援事業 「ほるん」

- 中長期の課題：今後の藤の実会のサービスの利用につながる利用者を増やす
- 令和7年度の目標：利用者が「行ってみたい」「また来たい」と思えるような事業所を目指す
- メインテーマ：いろいろなことを体験しよう！

○中長期の課題：今後の藤の実会のサービスの利用につながる利用者を増やす
 ○令和8年度の目標：将来の生活に繋がる支援
 ○メインテーマ：笑顔あふれる空間

	項目	令和7年度事業計画	令和7年度事業報告	令和8年度事業計画
1	個別支援計画	●利用者支援の質の向上 施策：個々の利用者の発達や精神状況（学齢期～青年期）に応じた支援 内容： ・保護者、学校教諭との関係構築 ・保護者との密な情報交換、情報共有 ・本人の成長に伴い生じる保護者の悩みの相談、解消 ※保護者面談の実施 ・支援の充実 ※個々にあった体験活動や外出活動の実施 ※自立に向けた個々のチャレンジの共有（保護者・学校等）と実施 ※遊びを通じ、他者との関わりを学ぶ ※物品、教材の整備（随時） ・物品、教材等を利用者が選ぶ機会、利用者で購入する機会を設ける ・満足度調査の実施	【実績】 ・迎える際に随時保護者との情報共有等を実施。進路先や生活の場についての相談も増加 ・10月に希望者を対象に保護者と面談を実施。11名中3名実施。 ・夏休みの長期休みに博物館、体験型施設への外出を増やし、外部でのコミュニケーションを図る機会を提供 ・利用者と一緒におやつ作りなどの材料の買い物を実施。 ・満足度調査2月実施。11名中7名回収。 【効果】 ・学校での利用者の様子や活動内容の把握 ・利用者と買い物に行く機会を増やし、一緒に選び、買い物を実施することで外出の楽しさ、社会的な学びの機会の提供。 ・利用者の楽しみ・居心地の良さの提供。	●利用者支援の質の向上 施策：個々の利用者の発達や精神状況（学齢期～青年期）に応じた支援 内容： ・保護者、学校教諭との関係構築 ・保護者との密な情報交換、情報共有 ・本人の成長に伴い生じる保護者の悩みの相談、解消 ※保護者面談の実施 ・支援の充実 ※季節を感じるイベントの実施 ※学校の長期休みを活用した社会体験外出の実施 ※自立に向けた個々のチャレンジの共有（保護者・学校等）と実施 ※遊びを通じ、他者との関わりを学ぶ ・利用者と物品等購入する機会を増やす。

			【課題】 マンツーマンでの対応する利用者の集団で活動する際の対応の検討が必要。 (集団行動を苦手とする利用者)	●満足度調査の実施（1月）
	●利用者・地域のニーズに応える (目標：全体利用率86%) 施策：日中一時支援事業の展開 内容： ・他事業所、相談支援事業所との情報交換、情報共有 ・小学部・中学部を中心とした新規利用者の確保 ※関係機関への情報発信 ・他法人事業所の見学実施（11月）	●利用者・地域のニーズに応える (目標：全体利用率86%) 施策：日中一時支援事業の展開 内容： ・他事業所、相談支援事業所との情報交換、情報共有 ・小学部・中学部を中心とした新規利用者2名 ・小学部新規利用者見学2名 ・他法人等の事業所見学2月実施 ・小学部新規利用者見学2名 【課題】 2校へのお迎えサービスの体制確保。 - 新規利用者受け入れにより、定期的に利用している利用者との関係性への配慮 (相性・利用卒の制限)	●利用者・地域のニーズに応える (目標：全体利用率86%) 施策：日中一時支援事業の展開 内容： ・他事業所、相談支援事業所との情報交換、情報共有 ・小学部・中学部を中心とした新規利用者2名 ・小学部新規利用者見学2名 ・他法人等の事業所見学2月実施 ・小学部新規利用者見学2名 【課題】 マンツーマンでの対応する利用者の集団で活動する際の対応の検討が必要。 (集団行動を苦手とする利用者)	
2	活動支援	施策：関係機関との連携 内容： ・特別支援学校との関係構築 ・特別支援学校行事への参加 ・自立支援協議会こども部会への参加 施策：広報活動の継続 内容： ・パンフレット配布による広報活動 ・法人ホームページを活用した情報発信（月1回以上）	【実績】 - 特別支援学校への学校公開参加 (埼玉県立おおぞら特別支援学校) - サポートサービス送迎説明会への参加 (所沢おおぞら特別支援学校) - 自立支援協議会こども部会参加（11月） - 法人ホームページへのブログ掲載5回 - 所沢市役所へパンフレット配布および定期的な残数の確認 【効果】 - 関係機関の情報共有および状況把握。 - 保護者・関係機関への活動状況の情報発信、共有。	施策：関係機関との連携 内容： ・特別支援学校との関係構築 ・特別支援学校行事への参加 ・自立支援協議会こども部会への参加 施策：広報活動の継続 内容： ・パンフレット配布による広報活動 ・法人ホームページを活用した定期的な情報発信（月1回以上）

3	●組織強化 施策：法人事業所との連携 内容： ・保護者、利用者と法人内事業所見学会実施継続 ・法人内事業所のイベント（行事）への参加 施策：安全対策の強化 内容： ・ところざわ学園の避難訓練へ参加（年1回） ・緊急時対応マニュアルの周知 ・車両運転マニュアルの確認（月1回）	【実績】 ・ところざわ学園短期入所契約・利用1名 ・ふじいろ契約3名 ・ふじいろ利用2名 ・合同防災訓練参加1名 【効果】 ・法人事業所の将来的利用の促進	●組織強化 施策：法人事業所との連携 内容： ・保護者、利用者と法人内事業所見学会実施継続 ・法人内事業所のイベント（行事）への参加 施策：地域福祉の推進 内容： ・ボランティアの受入れ ※ところざわ学園実習生の受入れ（実習期間中にほるんでの実習も実施） 施策：安全対策の強化 内容： ・ところざわ学園の避難訓練へ参加（年1回） ・緊急時対応マニュアルの周知 ・車両運転マニュアルの確認（月1回）
4	●人材育成 施策：学齢期～青年期の利用者理解を深める ・支援協議の実施（月1回） サポーターズカレッジを使用した研修の実施（月1回） ・研修会への参加 ※虐待防止研修 ※こども部会研修への参加	【実績】 ・支援協議4回実施。 ・サポーターズカレッジ研修3回 【効果】 ・統一した支援を行うことによる利用者の精神安定。	●人材育成 施策：学齢期～青年期の利用者理解を深める ・支援協議の実施（年6回） ・必要に応じサポーターズカレッジを使用した研修の実施（年6回） ・研修会への参加 ※虐待防止研修 ※こども部会研修への参加1回以上

令和 7 年度 事業報告

指定障害者支援施設 ぱらす

- 中長期の課題：健康維持（身体機能、精神衛生）
- 令和 7 年度の目標：意思決定支援推進による心身の充実
- メインテーマ：元気！ハツラツ！

- 中長期の課題：健康維持（身体機能、精神衛生）
- 令和 8 年度の目標：意思決定支援推進と地域交流の促進
- メインテーマ：元気！ハツラツ！

項目	令和 7 年度事業計画	令和 7 年度事業報告	令和 8 年度事業計画
1 個別支援計画	【施策】 充実した生活の実現 【内容】 体力維持・未病・予防支援を踏まえた個別支援計画の作成および実践 ◇地域移行および外部施設日中サービス利用希望の確認 ・確認担当者の選任 ・意向確認方法の確認および実施 ・意思決定支援の推進 ・個別の意向を反映した地域移行推進 ・生活介護等外部施設日中サービス利用の実施	【実績】 ・個別支援計画モニタリング協議の実施 ・地域移行および生活介護等外部施設日中サービス利用の意向確認実施 ・外部施設の生活介護体験利用に向けた見学実施 ・支援会議にて意思決定支援の研修動画視聴 ・利用者ミーティング等での意思決定支援の取り組み 【効果】 ・利用者の意向に合わせた支援の実施 【課題】 ・意向に沿った地域移行に向けた見学や体験利用	【施策】 意思決定支援の推進 【内容】 体力維持・未病・予防支援に配慮し、本人の意向に合わせた個別支援計画の作成、実施 ・地域移行および外部施設日中サービス利用希望の確認 ・生活介護等外部施設日中サービス体験利用の実施 ・個別支援計画等に関する利用者本人面談の実施（年 3 回） ・個別支援計画等に関するフロア協議の実施（年 2 回）

	(1) 施設入所支援事業 【施策】 安心・快適な暮らしの提供 【内容】 事故防止・虐待防止の取り組み推進 み推進 ◇ 権利擁護、虐待防止研修 (年 1 回) ◇ 介護技術研修 (年 1 回) ◇ 身体拘束に関する研修 (年 1 回) 【施策】：入所系事業所間の連携 【内容】 - 入所事業所の交換研修継続 (グループリーダーを対象とした夜間支援状況の把握) 【施策】 記録システム導入に伴う業務精査および効率化 【内容】 - 記録システムの使用方法確認および活用検討	(1) 施設入所支援事業 【実績】 - 全職員対象に支援におけるセルフチェックの実施。支援会議、虐待防止委員会にて他事業所と結果の共有 - 支援会議にて身体拘束に関する研修動画視聴 - 支援会議にて「さん」付け呼称の意識付け研修の実施 - 支援会議にてヒヤリハットの共有 - 権利擁護研修の参加 - 介護技術研修の実施 - ところざわ学園職員との連携強化にむけた夜間常研修実施 - 個人記録における記録システムの活用 【効果】 - 事故防止、虐待防止、権利擁護に対する意識付け - 介護技術、知識の向上 - 業務効率の向上 【課題】 - 記録システムの活用範囲の精査	(1) 施設入所支援事業 【施策】 安心・安全な生活 【内容】 事故防止・虐待防止の取り組み推進 - ヒヤリハット事例分析結果に基づいた危険箇所マップの更新 - 権利擁護、虐待防止研修 (年 1 回) - 身体拘束に関する研修 (年 1 回) - 地域連携推進会議の開催 (年 1 回) 【施策】：入所系事業所間の連携 【内容】 - 入所事業所の交換研修継続 (グループリーダーを対象とした夜間支援状況の把握) 【施策】 記録システム使用についての精査および効率化 【内容】 - 記録システムの使用方法確認および活用範囲の拡充
2 活動支援			

	(2) 生活介護事業 【施策】 日中活動の充実 【内容】 療法系活動の検討及び実施 ◇療法系活動導入方法継続検討 ◇特別講座ダンスの導入検討 ◇精神衛生活動の実施検討 行事 ◇各種行事の継続 ◇新規行事実施検討(例:駄菓子屋、出張デパート等) 情報発信 ◇法人ホームページ活用 定期的なブログ更新	(2) 生活介護事業 【実績】 ・新規行事として地域交流スペースにて出張デパートの開催(7月、11月) ・少人数編成の個別外出実施のべ45名参加 (5月、6月、9月、10月) ・団体日帰り旅行実施(11月) 27名参加 ・アーティストボランティアコンサート開催(6月、12月) ・夏を楽しむ会として流しぞうめん、花火の実施(7、8月) ・秩父学園プールの参加(7月) ・法人祭への参加(11月) ・ハロウィンの実施(10月) ・クリスマス会の実施(12月) ・音楽発表会の実施(12月) ・新年会の実施(1月) ・焼き芋会の実施(2月) ・納会の実施(3月) ・誕生日会の実施(毎月) ・お菓子作りの実施(毎月) ・散歩、製作など日中活動の実施 ・広報誌 News びらすの発行(隔月) ・ホームページにて地域連携推進会議議事録の公表 ・行事の様子をブログに更新(2回)	(2) 生活介護事業 【施策】 日中活動の充実 【内容】 療法系活動の検討及び実施 ・新規特別講座の実施検討 ・製作物の外部発信(作品展への出展) ・出張デパートの開催(年2回) ・新規日中活動内容の検討(アロマハンドマッサージ等) ・各種行事の継続 ・行事、日中活動の内容に関する利用者への聞き取り(月1回) ・外部行事への参加 情報発信 ・事業所広報誌 News びらすの発行 ・法人ホームページ活用 - 定期的なブログ更新 - 地域連携推進会議議事録の公表
--	--	--	--

【効果】

- ・精神衛生の配慮
- ・利用者の生活の質の向上
- ・施設内活動の情報発信
- ・地域との交流

【課題】

- ・ブログを活用した情報発信の推進

(3) 短期入所

【施策】円滑な利用受入れ

【内容】

- ・ところざわ学園との情報共有、利用希望者の特性に応じた利用調整
- ・短期入所新規利用者の定期的な利用受け入れ

(3) 短期入所

【実績】

- ・新規契約 8 件
 - ・緊急短期受け入れ 2 件
- (6 月、9 月)

【効果】

- ・緊急性の高い利用者の受け入れ
実施による地域福祉貢献

【課題】

- ・利用者の特性に応じた短期利用の受け入れ

(3) 短期入所

【施策】円滑な利用受入れ

【内容】

- ・ところざわ学園との情報共有、利用希望者の特性に応じた利用調整
- ・短期入所新規利用者の受け入れ
- ・緊急短期入所受け入れ対応

	【施策】高齢利用者のための健康維持 支援のスキルアップと対策 【内容】 疾病の理解及び予防、栄養状態改善 ◇各疾病に関する学習継続 ◇各疾病の予防策の検討及び実施 ◇高齢利用者の支援に対応できる介護設備等の導入検討 ◇摂食・嚥下専門の訪問歯科受診又は 往診導入 ◇食形態及び食事内容の見直し ◇食事状況の把握 （嗜好調査・食事状況調査：各年 1 回） ◇衛生管理講習（年 1 回） ◇感染症対策推進 ・感染症研修および訓練の実施 （各年 2 回）	【実績】 ・言語聴覚士による利用者退院後の 摂食、嚥下指導 ・支援会議にて高齢者における見え にくさの研修動画視聴 ・長期入院後の施設内のリハビリと して訪問看護事業所との連携 ・平行棒導入 ・高齢利用者の支援に対応するため 電動ベッド 1 台、浴室内椅子、浴 室内掴まり棒の導入 ・静養専用の食事用テーブル導入 ・清拭車 2 台導入 ・眼科健診実施 ・利用者健診結果集計および分析 ・摂食・嚥下専門の訪問歯科導入に 向けた歯科医との協議実施 ・利用者の状況に応じた食形態及び 食事内容の見直し ・嗜好調査の実施 ・衛生管理講習の実施 ・低栄養、摂食、嚥下についての 研修実施 ・感染症研修および訓練の実施 （各年 2 回） ・給食協議の実施	【施策】高齢利用者のための健康維持 支援のスキルアップと対策 【内容】疾病の理解及び予防、栄養状態改善 ・各疾病に関する学習継続 ・各疾病の予防策の検討及び実施 ・高齢利用者の支援に対応できる介護 設備等の導入検討 ・摂食・嚥下専門の訪問歯科受診又は 往診導入 ・食事状況の把握 （嗜好調査・食事状況調査：各年 1 回） ・食事内容の見直しおよび段階食検討 ・衛生管理講習 web（年 1 回） ・感染症対策推進 ・感染症研修および訓練の実施（各年 2 回） ・介護技術研修参加および動画を研修活用 ・皮膚科の往診導入検討 ・入所医務交換研修実施
3	健康		

		【効果】 ・入院後のアフターケア向上 ・疾病に関する職員の知識向上 ・事故防止 ・健康面、衛生面の向上 【課題】 ・摂食・嚥下専門の歯科導入	【効果】 ・入院後のアフターケア向上 ・疾病に関する職員の知識向上 ・事故防止 ・健康面、衛生面の向上 【課題】 ・摂食・嚥下専門の歯科導入	
4 環境	【施策】 地域交流の推進 【内容】 地域交流スペースの活用 ・地域交流イベントの検討 【施策】 非常災害対策推進 【内容】 ・非常災害対策計画およびBCP 更新 ・防災倉庫および備品の整備検討 ・非常災害対策研修および訓練の実施（各年2回）	【実績】 ・地域連携推進会議の開催 ・出張デパートの開催（2回） ・防災倉庫の設置 ・非常災害対策計画およびBCP 更新 ・非常災害対策研修および訓練の実施（各年2回） 【効果】 ・地域交流の促進 ・災害時の必要物品の確保 【課題】 ・地域交流スペースの活用	【施策】 快適な暮らしの提供 【内容】 ・ホール内器具備品の配置等見直し ・居室ベッドの見直し ・施設内業者清掃の導入 ・福祉機器展の視察および導入検討 【施策】 非常災害対策推進 【内容】 ・非常災害対策計画およびBCP 更新 ・防災倉庫備品の整備推進 ・非常災害対策研修および訓練の実施（各年2回）	

5 人材育成	【施策】 職員の支援スキルアップ 【内容】 各種研修への参加 ◇障害特性の理解を深める研修 ◇制度の理解を深める研修 ◇衛生・健康の理解を深める研修 ◇サポーターズカレッジ（動画）研修の活用 ◇介護技術資格取得の推奨 ◇感染症対応訓練（年２回） ◇救命救急講習受講（年２回）	【実績】 ・支援会議にて強度行動障害に関する研修動画視聴（８月） ・強度高度障害に関する研修の参加 ３名（９月） ・支援会議にて制度に関する研修動画視聴（９月） ・記録の書き方研修受講（１１月） ・サービス管理責任者基礎研修受講 １名 ・強度行動障害実践研修受講 １名 ・口腔ケア研修受講 ２名（１２月） ・障害者支援部会全国大会参加 １名 ・感染症対応訓練２回実施 ・救命救急講習受講 ７名 【効果】 ・職員のスキル、モチベーションの向上 【課題】 ・職員のスキルに応じた研修の参加 ・研修内容の精査	【施策】 職員の支援スキルアップ 【内容】 各種研修への参加 ・障害特性の理解を深める研修 ・意志決定支援の理解を深める研修 ・記録の理解を深める研修 ・サポーターズカレッジ（動画）の活用 ・感染症対応訓練（年２回） ・救命救急講習受講 ・介護資格取得の推奨
--------	---	--	---

令和7年度 事業報告

共同生活援助事業 「所沢市立ゆきわり草」

○中長期の課題： 自立支援の充実

○令和7年度の目標： 出来る事を増やそう

○メインテーマ： 強みを伸ばす

- 中長期の課題： 自立支援の充実
- 令和8年度の目標： 自分の思いを伝えよう
- メインテーマ： 強みを伸ばす

項目	令和7年度事業計画	令和7年度事業報告	令和8年度事業計画
1 個別支援計画	施策：利用者・保護者のニーズ把握 課題の共有 個人記録、支援計画実施確認表、支援計画一覧表を活用した実施状況の把握 内容： ●利用者・保護者との実施状況の確認・課題の共有 ●職員間の支援計画の周知・実施状況の情報共有	【実績】 ・支援計画一覧表の作成及び周知 ・支援計画実施確認表による実施状況の把握 ・利用者との支援計画実施状況の確認、課題の共有 【効果】 ・利用者の支援計画実施意識向上 ・個々の個別支援計画の実施 【課題】 ・意思決定支援に基づく支援計画作成	施策：利用者・保護者のニーズ把握 課題の共有 個人記録、支援計画実施確認表、支援計画一覧表を活用した実施状況の把握 内容： ●利用者・保護者との実施状況の確認・課題の共有 ●職員間の支援計画の周知・実施状況の情報共有
2 活動支援	施策：安定した就労状況の継続 内容： ●各就労先・通所先との各利用者状況の情報共有 ●職場訪問の実施	施策：安定した就労状況の継続 【実績】 ・職場訪問、情報共有の実施（4回） 【効果】 ・各就労先との情報共有による関係強化	施策：安定した就労状況の継続 内容： ●各就労先・通所先との各利用者状況の情報共有 ●職場訪問の実施

	【課題】 ・安定した就労状況の継続 施設：余暇支援の充実 【実績】 ・個別外出の実施（76回） ・外食会（4回） ・誕生日会（4回） ・ハロウィン（10/31） ・クリスマス会（12/25） ・忘年会（12/30） ・初詣・新年会（1/1） ・納会（3/28） 【効果】 ・余暇外出の充実 【課題】 ・余暇支援内容の充実 ・買い物支払い時のスキル向上 施設：体験入居新規利用希望者の受入れ 内容： ●見学希望者の積極的な受入 ●法人内事業所間での新規利用希望者の情報共有 ●市内相談支援事業所との法人外部利用希望者の情報共有	施設：余暇支援の充実 内容： ●施設内行事の実施 - 誕生日会、外食会、ハロウィン、クリスマス会等 ●各利用者のニーズに合わせた個別外出の実施 ●グループホーム保護者会との共催による懇親会の実施（11月） 施設：充実した生活の実現 ●生活面での不足品の買い物 ●買い物支払い時のスキル ●外出先でのマナー、ルール体験入居 施設：新規利用希望者の受入れ 内容： ●見学希望者の積極的な受入 ●法人内事業所間での新規利用希望者の情報共有 ●市内相談支援事業所との法人外部利用希望者の情報共有
3 健康	施設：体力の維持・向上 内容： ●土日・祝日を利用した個別外出による運動の機会の確保 ●外出時のコミュニケーションを通じ	施設：体力の維持・向上 【実績】 ・徒歩や自転車による個別外出の実施 【効果】 ・個別外出による運動機会の増加

	た各利用者の精神状態、健康状態の把握 施策：感染症予防の実施 内容： ●検温・手洗い・手指消毒の徹底 ●体調不良者発生時の対応方法の確認（6月、11月） ●体調不良者発生時のゾーニング（居室隔離）の徹底	・個別のコミュニケーションによる、精神状態の安定 【課題】 ・運動の機会の継続的な提供 施策：感染症予防の実施 【実績】 ・毎日の検温・手洗い・手指の消毒の実施 ・体調不良者発生時の対応方法の確認（6月）	た各利用者の精神状態、健康状態の把握 施策：感染症予防の実施 内容： ●検温・手洗い・手指消毒の徹底 ●体調不良者発生時の対応方法の確認（6月、11月） ●体調不良者発生時のゾーニング（居室隔離）の徹底
4 環境	施策：適切な資源の活用 内容： ●年金内の生活を意識した、適切な使用の声かけ 施策：住環境の整備 内容： ●共有・居室環境の整備 各利用者、毎月、一回以上の居室清掃の実施。 利用者による施設清掃の実施（園庭、共有部分）	施策：適切な資源の活用 【実績】 ・平均利用料 51,864円 【効果】 ・年金（約7万円）内での生活の実現 【課題】 ・年金内の生活を意識した生活の継続 施策：住環境の整備 【実績】 ・休日を利用した環境整備の声掛け及び実施 ・空調設備の清掃実施（8月）（12月） 【効果】 ・居室の衛生保持 【課題】 ・利用者の環境整備への意識向上	施策：適切な資源の活用 内容： ●年金内の生活を意識した、適切な使用の声かけ 施策：住環境の整備 内容： ●共有・居室環境の整備 各利用者、毎月、一回以上の居室清掃の実施。 利用者による施設清掃の実施（園庭、共有部分）

	施策：法人事業所間の連携強化 内容： ●緊急時対応の周知 ●夜間避難訓練の実施	施策：法人事業所間の連携強化 ・緊急時対応の周知 ・夜間避難訓練の実施（6/30）（10/30）（2/26） ・炊き出し訓練参加 2 名（9/2） 【効果】 ・訓練による緊急時対応方法の確認 【課題】 ・バックアップ施設との連携強化 【実績】 ・検温、共有箇所の消毒・換気の実施	施策：法人事業所間の連携強化 内容： ●緊急時対応の周知 ●夜間避難訓練の実施 ●地域連携推進会議の実施
5 人材育成	施策：ホーム職員のモチベーション・支援スキルアップ 内容： ●意思決定支援 ●虐待防止研修 ●身体拘束適正化に伴う研修 ●感染症に関する研修・訓練（各 2 回） ●災害時の対応に伴う研修・訓練（各 2 回）	【実績】 ・感染症対策について（7/9） ・個人情報報の取り扱いについての研修（7/11）	施策：ホーム職員のモチベーション・支援スキルアップ 内容： ●意思決定支援 ●虐待防止研修 ●身体拘束適正化に伴う研修 ●感染症に関する研修・訓練（各 2 回） ●災害時の対応に伴う研修・訓練（各 2 回）

令和7年度 事業報告

共同生活援助事業 ケアホームふじのみ

○中長期の課題：安定した運営体制の構築
○令和7年度の目標：支援スキルの向上（計画的な研修と実践）
○メインテーマ：健康で充実した生活を送ろう

- 中長期の課題：安定した支援体制の構築（利用者・職員の高齢化。利用者の重度化）
○令和8年度の目標：支援スキルの向上（計画的な研修の実施）
○メインテーマ：自分の想いを伝えよう（利用者の想いを引き出す支援の実施）

項目	令和7年度事業計画	令和7年度事業報告	令和8年度事業計画
1 個別支援計画	施策：個別支援計画の充実 内容 ・新書式での個別支援計画作成 ・1つに限らない目標設定に必要なニーズ整理と優先順位、支援内容の検討 ・意思決定に基づいた支援計画作成 ・日々のコミュニケーションから入居者の状況やニーズを把握 ・保護者・後見人との関係強化 ・公布日一覧表の作成	【実績】 ○入居者との定期的な個別面談（34名） ○保護者・後見人との個別面談実施（34名） ○日々のコミュニケーションを通じての支援計画の状況確認と意思決定支援の実施 ○保護者との個人面談の実施 【効果】 ○入居者のニーズ把握と状況に合わせた支援の実施 ○保護者・後見人との関係性強化 【課題】 ○入居者状況（高齢化・重度化）に合わせた目標の設定	施策：各入居者の得意・強みを反映した個別支援計画の作成 内容： ○日々のコミュニケーションを通じた入居者の状況・ニーズ把握 ○帰省・帰ホーム時のコミュニケーション、定期的な電話連絡等による保護者・後見人との関係強化 ○できる事を伸ばす、維持する支援内容の検討

	施策：充実した地域生活の実現 内容 ○ふじいろとの連携・情報共有 ○通所支援の充実 ・通所先との情報共有・連携強化 ・通所先への訪問 ○余暇支援の充実 ・誕生日会の実施 ・グループホーム保護者会との共催による懇親会の実施（11月） ・季節に応じたホーム内イベントの開催 ・ふじいろと連携した余暇外出の実施 ○生活支援の充実 ・利用者ミーティングの実施（毎月） - 令和8年度から県営も実施 ・各入居者状況に合わせた飲食量、運動量の提供（補食の提供） ・できる事を増やす、伸ばす、維持する支援の実施 ・生活リズムを整える ・関係事業所との情報共有	施策：充実した地域生活の実現 内容 ○ふじいろとの連携・情報共有 ○通所支援の充実 ・通所先との情報共有・連携強化 ・通所先への訪問 ○余暇支援の充実 ・誕生日会の実施 ・グループホーム保護者会との共催による懇親会の実施（11月） ・季節に応じたイベントの開催 ・ふじいろと連携した余暇外出の実施 ○生活支援の充実 ・利用者ミーティングの実施（毎月） - 令和8年度から県営も実施 ・各入居者状況に合わせた飲食量、運動量の提供（補食の提供） ・できる事を増やす、伸ばす、維持する支援の実施 ・生活リズムを整える ・関係事業所との情報共有
2 活動支援	【実績】 ○ふじいろとの連携（毎月） ○利用者ミーティングの実施（毎月） ○保護者・後見人との連絡調整（毎月） ○誕生日会の実施 ○散歩の実施 ○私物の自己管理支援 ○通所先の訪問（毎月） ○芋煮会の実施（11月29日） ○季節に応じたイベントの開催（芋ほり、かき氷、セタ、クリスマス会、初詣等） 【効果】 ○余暇外出の充実 ○入居者の意見・希望の把握 ○通所先との連携強化 ○安定した通所利用 ○ホーム内での余暇の充実 【課題】 ○ふじいろ兼任職員不在時のホーム支援体制の確保 ○入居者状況（重度化・高齢化）に合わせた支援の実施 ○支援スキルの向上	施策：充実した地域生活の実現 内容 ○ふじいろとの連携・情報共有 ○通所支援の充実 ・通所先との情報共有・連携強化 ・通所先訪問実施 ○余暇支援の充実 ・個々の希望に沿った余暇活動の提案 ・誕生日会実施 ・グループホーム保護者会との共催による懇親会の実施（11月） ・季節に応じたイベントの開催 ・（かき氷作り、クリスマス会等） ・ふじいろと連携した余暇外出の実施 ○生活支援の充実 ・利用者ミーティングの実施（毎月） ・できることを増やす・伸ばす・維持 ・入居者のコミュニケーション能力向上（自分の思いを穏やかに伝え、他人の話を受け入れる） ・生活リズムを整える ・入居者一人一人の生活スキルに応じた自立支援（買物支援、身辺自立（律）支援）

	・社会性の維持・向上（共同生活のルールや外出時のマナー） ・関係事業所との情報共有 ・飲食と運動量のバランス	
3 健康	施策：健康維持増進 内容 ○感染症（新型コロナ、インフルエンザ等）の環境整備の継続 ・体調把握の徹底（入居者・職員） ・手洗い・うがい・手指消毒の徹底（入居者・職員） ・体調不良者発生時におけるゾーニング対応の徹底（居室での隔離） ・必要に応じたマスク着用 ・使い捨て手袋等の適切な使用 ・医療機関への早めの相談（協力医療機関の活用） ○心と体の健康づくり ・個々に応じた運動機会の提供 ・外出時のコミュニケーションを通じた精神状況、健康状況の把握 ・各通所先看護師・栄養士との連携 ・医療機関との連携	施策：健康維持増進 内容： ○感染症（新型コロナ、インフルエンザ等）予防に繋がる環境整備の継続 ・日々のコミュニケーションを通じた各入居者の体調把握。（早期発見・早期通院） ・体調不良者発生時におけるゾーニング対応の徹底（居室での隔離） ・必要に応じたマスク着用 ・使い捨て手袋等の適切な使用 ○心と体の健康づくり ・個々に応じた運動機会の提供 ・外出時のコミュニケーションを通じた精神状況、健康状況の把握 ・各通所先看護師・栄養士との連携 ・医療機関との連携 ・入居者別適正食事量の把握
	実績】 ○日々のコミュニケーションによる体調変化の早期発見、早期通院 ○状況に応じた感染予防対策の実施 ○散歩の励行 ○各入居者に合わせた食事量の調整 ○下雷 ・7月 新型コロナウイルス陽性者 3名 ・1月 胃腸炎 4名 ○松郷 ・8月 新型コロナウイルス陽性者 1名 ・9月 新型コロナウイルス陽性者 1名 【効果】 ○迅速な対応による感染拡大の防止 ○入居者の体力維持 【課題】 ○ふじいろとの連携による運動機会の継続的な提供 ○各入居者に合わせた運動量の提供	

4 環境	施策：設備の適切なメンテナンス 内容 ・経年劣化に対応した修繕の実施 ・迅速な故障個所の修繕 ・浄化槽・貯留槽維持管理（下富） ・10年を経過した家電製品（エアコン、浴室乾燥等）の状態確認 ・支援記録システム導入に向けての通信環境の改善	【実績】 ・浴室水栓交換（2箇所） ・扉修繕（押入れ、ホール、居室入口）（6箇所） ・感知器交換（1箇所） ・非常照明バッテリー交換（4箇所） ・誘導灯バッテリー交換（2箇所） ・誘導灯交換（2箇所） ・つぎみ草スプリンクラーポンプ修繕 ・スプリンクラーポンプ始動（下富全棟。12月以降毎月実施） ・給湯器交換（1台） ・エアコン交換（5台） ・エアコン清掃 ・洗濯機交換（1台） ・洗面台配管交換（1箇所） ・排水管清掃 ・下富固定電話交換（1台） ・見守システム用無停電電源装置交換 ・ふくじゅ草雨どい清掃 ・下富貯留槽清掃（2回追加） ・公用車メンテナンス ・車両入替 ・タンク購入（キューブ廃車） 【効果】 ・安全な生活環境の維持
		施策：設備の適切なメンテナンス 内容 ・電化製品の劣化状況の把握 ・迅速な故障個所の修繕 ・浄化槽、貯留槽維持管理（下富） ・支援記録システム導入に向けた Wi-Fi 環境の整備 ・事業所内の LED 化の推進（必要箇所の把握、見積もり）

	施策：職員全体のスキルアップ 内容 ○研修会への参加（内部・外部） ・市内のネットワーク会議への参加（年2回） ・動画研修の有効活用 ・虐待防止・権利擁護研修 ・身体拘束適正化の研修 ・感染防止の研修 ・記録の仕方についての研修 ○会議の充実 ・正規職員協議（毎月） ・各拠点協議（毎月） ・法人各種委員会への出席 ・他法人グループホーム見学（年1回） 施策：次世代リーダー育成 内容 ○正規職員の管理運営マネジメント能力向上 ・労務管理研修(OJT、OFF-JT) ・対外業務研修（OJT） ・課題形成・解決・リスクマネジメント研修(OJT、OFF-JT) ・メンタルヘルス研修	【実績】 ○正規職員協議（毎月） ○各拠点協議（毎月） ○法人各種委員会への出席 ○グループホーム職員等連絡会議（2回、3名） ○地域生活支援部会（1回、1名） ○地域連携推進会議（2回） ○福祉サービス事業所交流研修(2名) ○労務管理担当者研修動画視聴(1名) ○動画研修（サポーターズカレッジ） ○不応行動への基本的な対応研修（5名） ○口腔ケア研修（4名） ○虐待防止委員会研修（6名） ○介護技術研修（6名） ○普通救命講習（6名） ○他法人グループホーム見学（3月） ○サービス管理責任者等基礎研修（1名） 【効果】 ○職員の支援力の向上 【課題】 ○計画的な研修の実施	施策：職員のスキルアップ 内容： ○研修会への参加（内部・外部） ・市内のネットワーク会議への参加（年2回） ・動画研修の有効活用 ・虐待防止・権利擁護研修 ・身体拘束適正化の研修 ・感染防止の研修 ・記録の仕方についての研修 ・法人内事業所支援体験 ○会議の充実 ・正規職員協議（毎月） ・各拠点協議（毎月） ・法人各種委員会への出席 ・他法人グループホーム見学（年1回） 施策：次世代リーダー育成 内容 ○正規職員の管理運営マネジメント能力向上 ・労務管理研修(OJT、OFF-JT) ・対外業務研修（OJT） ・課題形成・解決・リスクマネジメント研修(OJT、OFF-JT) ・メンタルヘルス研修
--	--	---	--

令和 7 年度 事業報告

指定障害福祉サービス事業所 所沢市立はばたき

○中長期の課題：安定した活動提供・施設の老朽化

○令和 7 年度の目標：気持ち新たに、基礎を再確認

○メインテーマ：相乗効果（共通認識を持ち、目的を達成する）

- 中長期の課題：安定した作業、活動提供・施設の老朽化
- 令和 8 年度の目標：さらなる能力、意欲の向上が図れる体制づくり（支援、活動、製品、製造の質の向上）
- メインテーマ：相乗効果（共通認識を持ち、目的を達成する）

項目	令和 7 年度事業計画	令和 7 年度事業報告	令和 8 年度事業計画
1 個別支援計画	施策：個別支援計画の充実 内容 ・利用者の得意、個性を活かした個別支援の実施 ・グループ職員ミーティングの実施（毎朝） ・グループ支援協議の実施（月 1 回）（進捗、支援方法の確認と共有等） ・事業所内記録の書き方研修（5 月、11 月） ・意思決定支援についての研修（6 月）	【実績】 ① グループ職員ミーティング：各グループ毎日実施 ② グループ支援協議：毎月実施 ③ 記録の書き方研修（4 月・5 月） ④ 障害特性に配慮した支援 ⇒健康診断が苦手な利用者向けの練習を実施。見通しを持った支援をする事で健康診断ができた。 【効果】 ① 就業開始時間の異なる職員間の情報共有がスムーズとなった。 ② 支援記録システムを使用した記録の書き方（ルール）を統一した事で円滑に利用が出来ている。	施策：個別支援計画の充実 内容 ・利用者の得意、個性を活かした個別支援の実施 ・グループ職員ミーティングの実施（毎朝） ・グループ支援協議の実施（月 1 回）（進捗、支援方法の確認と共有等） ① 事業所内記録の書き方研修 ② 意思決定支援についての研修 ③ 利用者支援質向上についての研修（①～③各 年 1 回）

			③ 見通しを持った支援をする事で課題のあった利用者の健康診断がスムーズに実施できている。	
2	活動支援	●共通 施策：季節ごとの施設行事の充実。 楽しみを共有。 内容： ① 活動公開(5月、11月) ② スポーツイベント(ボウリング) (6月) ③ 夏を楽しむ企画(7月) ④ UDe スポーツ大会(8月) ⑤ 半期グループ納会(秋：市内散策) ⑥ クリスマス会(12月) ⑦ 新年を祝う会(1月) ⑧ 焼き芋会(2月) ⑨ 納会(3月) (1) 就労継続支援B型 施策：施設内外活動の維持継続 内容： ① 施設外活動(リサイクル回収) ・回収年間売上目標：150万円	●共通 施策：季節ごとの施設行事の充実。 楽しみを共有。 内容： ① 活動公開(5月、12月) ② スポーツイベント(ボウリング) (6月) ③ 夏を楽しむ企画(7月) ④ UDe スポーツ大会(8月) ⑤ 半期グループ納会(9月) ⑥ 社会体験外出(10月、12月) ※生活介護のみ ⑦ ファームフェスティバル(11月) ⑧ クリスマス会(12月) ⑨ 新年を祝う会(1月) ⑩ 節分焼き芋会(2月) ⑪ 納会(3月) (1) 就労継続支援B型 施策：施設内外活動の維持継続と健康維持 内容： ①施設外活動(リサイクル回収)	
		【実績】 ・活動公開(5月・11月) ：合計25名 <季節ごとの施設行事、各グループ行事> 【春】スポーツイベント(6月) 【夏】夏を楽しむ企画、プール活動 UDe スポーツ大会 (7月・8月) 【秋】半期各グループ納会(9月) 【冬】クリスマス会(12月) 新年を祝う会(1月) 焼き芋会(節分)(2月) 納会(3月) 【効果】 ・普段と違った利用者の様子の把握 ・やりがいと楽しみを感じられる活動を提供できている。 (1) 就労継続支援B型 【実績】 ①施設外活動 (リサイクル回収・報償金) ・売上： 1,651,536円 ②施設内活動 (内職活動・石けん製造) ・売上： 1,485,390円		

	② 施設内活動 (内職作業・石けん製造) - 年間販売売上目標：120万円 - 学習の機会の提供（年1回以上） (利用者の希望、要望を確認する。 例：講師による学習会、他施設 他機関見学、体験など ●利用者工賃 目標：月・平均 20,000円 リサイクル回収：10,500円 石けん販売： 1,000円 内職作業： 8,500円	施設外作業の安定実施 - 平均工賃： 23,536円 (最高額：24,316円、最低額：12,906円) 【実績】 - 新規下請け作業に、多くの利用者が関わられるようになった。 (コード拭き作業) - R8.1.19より所沢市役所総務部職員課障害者チャレンジオフィス「わくわく」採用1名 【効果】 - 作業が効率的に進められるようになった。 - 個別支援計画の遂行により、利用者の成長を感じる事が出来た。 【課題】 - 作業精度の向上（コード拭き作業）	- 回収年間売上目標：150万円 ②施設内活動（内職作業・石けん製造） - 年間販売売上目標：120万円 - 学習の機会の提供（年1回以上） (利用者の希望、要望を確認する。 例：講師による学習会、他施設 他機関見学、体験など - 心身ともに健康第一 - 作業終了後ウォーキング実施 目標：月・平均 20,000円 リサイクル回収：10,500円 石けん販売： 1,000円 内職作業： 8,500円
2 活動支援	(2) 生活介護事業 施策：活動内容の見直し ①農作業・しザー作業 【農作業】 - コンパニオンプランツの試験実施 - 畑の土壌改善 【しザー作業】 - 製造製品の絞り込み - 製品のクオリティ向上 - しザー製品製造研修（年1回） (対象：職員)	(2) 生活介護事業 ①農作業・しザー作業 【実績】 - コンパニオンプランツ実施。 - 土壌改善を実施 ⇒枯れ葉、石灰、米ぬかを使用した土壌改善を実施中。 【効果】 - じゃがいも栽培時に植えたマリーゴールドの影響もありじゃがいもの生育もよく虫もつかず豊作	(2) 生活介護事業 施策：活動内容の見直し ①農作業・しザー作業 【農作業】 - 種類をしほり収穫量を増やす - コンパニオンプランツ実施 - 枯れ葉、石灰、米ぬかを使用した土壌改善の継続。 【しザー作業】 - 製品のクオリティ向上 - しザー製品製造研修（年1回）

		②創作活動 ・利用者の特性を活かした製品作り ・作品展への出展 (グループ・個人作品) ・製品、活動紹介のお知らせ配布 (年 1 回) ・季節を感じる掲示物の製作、展示 ・事業所外での作品展開催の実施 (所沢中富郵便局にて下半期で実施) ・陶芸講習実施 (年 1 回) (対象：職員) ・子ども服製造見直し ・小物類製造を企画・販売 (利用者の絵を使用したオリジナル製品) 例：チャック袋、保冷剤など ③下請け作業 ・安定した作業量の提供、新たな作業種の開拓 ・利用者個々の支援ニーズ (運動面) への支援充実 (週 2 回以上実施)	(対象：職員)
	となった。 ・農作業の工程の増加 【課題】 ・収穫量が多く長期保存が出来る野菜の種類を絞り込む。 ②創作活動 【実績】 ・障害者週間記念事業「障害者作品展」個人作品を出品 ・所沢中富郵便局 はばたき作品展 (2月9日～2月20日) ・民生委員児童委員感謝状贈呈式記念品の受注。 【効果】 ・利用者の製作意欲向上。 ・地域への情報発信。 ・工賃、支給金の向上。 ③下請け作業 【実績】 ・定期的に身体を動かす活動を提供。 【効果】 ・運動面への支援を実施する機会が増えた。 ・情緒面や気分転換となりメリハリのある活動提供。 【課題】	②創作活動 ・利用者の特性を活かした製品作り ・作品展への出展 (グループ・個人作品) ・製品、活動紹介のお知らせ配布 (年 1 回) ・季節を感じる掲示物の製作、展示 ・事業所外での作品展開催の実施 (中富郵便局 11 月中旬) ・陶芸講習実施 (年 1 回) (対象：職員) ・こども服、小物製造原価率の改善 ③下請け作業 ・安定した作業量の提供。 ・利用者個々の支援ニーズ (運動面) への支援充実 (週 2 回以上実施)	

	●クラブ活動 施策：クラブ活動の実施と見直し 内容：運動・作業・生活・創作音楽 UDe スポーツ・作業 ・計画的な活動の提供 （予定表の提示など） ●特別講座 施策：ニーズに対応した活動提供と見直し 内容： ・施設行事での発表機会の提供（法人祭・クリスマス会等） ・外部での発表の機会の提供 ・SNS を利用した、活動の配信（Instagram 等）	●クラブ活動 【実績】 ・UDe スポーツオンライン対戦参加（2 回） 【効果】 ・利用者の興味、関心を広げる機会の増加 【課題】 ・希望者人数の偏り（運動の希望者多数）。 ●特別講座 【実績】 ・発表の機会の提供（法人祭・クリスマス会・新年を祝う会） ・参加状況など把握し本人の特性に合った活動提供の実施 【効果】 ・利用者の意欲向上	●クラブ活動 施策：クラブ活動の実施と見直し 内容：運動・作業・生活・創作音楽 UDe スポーツ ・計画的な活動の提供 （予定表の提示など） ●特別講座 施策：ニーズに対応した活動提供と見直し 内容： ・施設行事での発表機会の提供（法人祭・クリスマス会等） ・外部での発表の機会の提供 ・SNS を利用した、活動の配信（Instagram 等）	●クラブ活動 施策：クラブ活動の実施と見直し 内容：運動・生活・創作音楽 UDe スポーツ・作業 ・計画的な活動の提供 （予定表の提示など） ●特別講座 施策：ニーズに対応した活動提供と見直し 内容： ・施設行事での発表機会の提供（法人祭・クリスマス会等） ・外部での発表の機会の提供 ・SNS を利用した、活動の配信（Instagram 等）	●クラブ活動 施策：クラブ活動の実施と見直し 内容：運動・生活・創作音楽 UDe スポーツ・作業 ・計画的な活動の提供 （予定表の提示など） ●特別講座 施策：ニーズに対応した活動提供と見直し 内容： ・施設行事での発表機会の提供（法人祭・クリスマス会等） ・外部での発表の機会の提供 ・SNS を利用した、活動の配信（Instagram 等）
3	健康	健康管理分析 【実績】 ・ラジオ体操の実施。（全グループ週 2 回以上） ●栄養管理	健康管理分析 施策：生活習慣病対策 内容： ●健康管理 ・食事、運動、生活習慣に関する支援 ・ラジオ体操の実施（週 2 回以上） ・保健だよりの発行 ・感染症についての研修の実施（年 1 回以上） ●栄養管理	健康管理分析 施策：生活習慣病対策 内容： ●健康管理 ・食事、運動、生活習慣に関する支援 ・ラジオ体操の実施（週 2 回以上） ・保健だよりの発行 ・感染症についての実践研修の実施（嘔吐処理方法など）（年 1 回以上） ●栄養管理	健康管理分析 施策：生活習慣病対策 内容： ●健康管理 ・食事、運動、生活習慣に関する支援 ・ラジオ体操の実施（週 2 回以上） ・保健だよりの発行 ・感染症についての実践研修の実施（嘔吐処理方法など）（年 1 回以上） ●栄養管理

	● 食事状況の把握継続 (嗜好調査・食事状況調査：各年 1 回) ● 食形態の見直し ● 健康面に配慮した主食提供の実施 (玄米食の提供：週 2 回)	【実績】 ● 健康面に配慮した主食提供の実施 (玄米食の提供：週 2 回実施) ● 白米と同じように違和感なく摂取できている。 【課題】 ● 家庭との連携	● 食事状況の把握継続 (嗜好調査・食事状況調査：各年 1 回) ● 食形態の見直し ● 健康面に配慮した主食提供の実施 (玄米食の提供：週 2 回継続) ● 健康面に配慮したヘルシーメニュー (和食や咀嚼回数が増えるメニュー)の提供 (月 1 回)
4	● 活動環境の整備 施策：活動環境を整える 内容：作業環境の改善 (環境調整・計画的な修繕・備品変更の実施) ● 感染症予防対策の継続 ① 空調の整備検討 ② トイレの修繕工事 ● 地域との連携 施策：緊急時の地域との連携 地域との連携強化 内容：合同防災訓練の継続	● 地域との連携 施策：緊急時の地域との連携 地域との連携強化 内容：合同防災訓練の継続 法人 BCP の周知 かまどベンチの活用、防災対策強化 (炊出し訓練・テント設置訓練) 【実績】 ● 北原町合同防災訓練への参加 (11 月) 【効果】 ● 災害が起きた際の避難経路の確認。 【実績】 ● 7 月、夏休み活動体験会実施 ： 24 名参加 ● 1 月、職場体験の受入れ ： 所沢市立所沢中学校 3Days 2 名参加	● 活動環境の整備 施策：活動環境を整える 内容：作業環境の改善 (環境調整・計画的な修繕・備品変更の実施) ● 感染症予防対策の継続 ① トイレの修繕工事 ② 外廊下のバリアフリー化 ③ 防犯カメラの設置 ● 地域との連携 施策：緊急時の地域との連携 地域との連携強化 内容：合同防災訓練の継続 法人 BCP の周知と訓練実施 かまどベンチの活用、防災対策強化 (炊出し訓練・テント設置訓練) ● 地域との連携 施策：地域との連携 内容：一般活動公開の実施 ● 近隣小学生向け作業体験の継続 (福祉教育の機会実施も含む) ● 近隣小中学校との連携強化 (職場体験等の受け入れ)

5	人材育成	施策：職員の支援スキルアップ 内容： ・研修会への参加（内部・外部） ◇社会人、福祉職員としての意識を高める研修 ◇障害特性の理解を深める研修 ◇制度の理解を深める研修 ◇資格取得に関する研修 ◇衛生・健康の理解を深める研修 ◇介護技術獲得のための研修 ・動画視聴研修プログラムの有効的な活用	【事業所内研修】 ① 接遇研修（オンライン研修） ② 虐待防止に関する研修（5月） ③ 災害に関する研修 （6月、8月、9月） ④ 秘密情報の適正な取り扱いに資するための研修（7月） ⑤ 腰痛予防研修（8月） ⑥ 感染症予防対策研修 （10月、1月） ⑦ 手洗いチェッカー実施（12月） ⑧ 身体拘束に関する研修（2月） 【外部研修】 ① 意思決定支援研修（1月） ② 虐待防止権利擁護研修 （12月、1月） ③ 介護技術研修（2月予定） 【効果】 ・支援スキル、意識の向上 ・支援に対する考え方の周知、統一	施策：職員の支援スキルアップ 内容： ・研修会への参加（内部・外部） ◇支援質向上のための研修 ◇障害特性の理解を深める研修 ◇制度の理解を深める研修 ◇資格取得に関する研修 ◇衛生・健康の実践研修 ・動画視聴研修プログラムの有効的な活用 ・嘔吐処理についての研修（実技研修含む）
---	------	---	---	---

令和7年度 事業報告

指定障害福祉サービス事業所 かがやき

○中長期の課題：就労継続支援B型：施設外就労への意識改革

生活介護：利用者特性（強み）を活かした作業の構築

○令和7年度の目標

就労継続支援B型：施設外作業（就労）への意識定着

生活介護事業：内職作業へのチャレンジ

○メインテーマ：更なる地域への連携強化

○中長期の課題：就労継続支援B型：施設外就労への意識改革

生活介護：利用者特性（強み）を活かした作業の構築

○令和8年度の目標

就労継続支援B型：施設外作業の定着

生活介護事業：安定した作業の提供と供給

○メインテーマ：自分が担う役割を探そう

項目	令和7年度事業計画	令和7年度事業報告	令和8年度事業計画
1 個別支援計画	施策：個別支援計画の充実 内容 ・サポーターズカレッジ動画研修 「ニーズ把握の困難な利用者へのアセスメント」動画視聴（5月） ・関係機関（グループホーム）との連携、年2回（8・2月実施予定） ・意思決定支援についての研修（5月）	【実績】 ・モニタリングの実施（9月・2月） ・サポーターズカレッジ動画研修 「ニーズ把握の困難な利用者へのアセスメント」動画の視聴（6月） ・関係機関（グループホーム）との連携向上のため、担当者会議を実施（8月・2月） ・意思決定支援の研修（8月実施） 【効果】 ・意思を汲み取るスキル・機会の獲得 【課題】 ・支援計画に対する職員間の情報の共有	施策：個別支援計画の充実 内容 ・支援計画の支援者への周知 ・モニタリング作成に使用する資料（個人記録など）の活用状況の確認（生活介護、就労継続支援B型） ・関係機関（グループホーム）との連携向上の為、担当者会議を実施（8月、2月（実施予定））

2	活動支援 (1) 生活介護事業 施策：安定した作業の提供 内容 ・継続した自主製品の販売・発信 ◇事業所、物産館、団子催事 ◇SNS等の活用 ・平均支給金目標：3,000円/月 ・下請け作業（継続） ◇タオルたたみ（NRS） ◇リサイクル分解（みづばち作業所）内職種類の増加 ◇菓子箱組立（東京ぼんぽこ本舗） ・新規下請け作業の検討 (2) 就労継続支援B型 施策：店舗売上向上に繋がる最適なアプローチ方法の検討・実施 内容 ・年間売上目標：2,700,000円/年 ・平均工賃目標：15,500円/月 ・飲食店営業（団子） ◇地域イベントへの積極的参加 ◇新規出店機会の確保 ・店舗売上向上に向けた取り組み ◇店舗前レイアウトの検討・実施 ・他事業所の施設見学	(1) 生活介護事業 【実績】 ・プラバン新商品 「アンブレラマーカー」の販売（5月） ・継続した自主製品の販売、発信（物産館、市役所、イベント） ・年間売上実績：563,377円 年間平均支給額：2,216円 ・新規下請け先2カ所と契約（シーエルビー、みらい図） 【効果】 ・新規作業体験（シール貼り） 【課題】 ・利用者に合った作業内容の見極め ・支給金の向上 (2) 就労継続支援B型 【実績】 ・新規出店：2カ所 ライト・イット・アップ・ブルー、東洋ケアサービス展示会 ・新規納品先：こぶし祭り ・新規委託業務 ようかん納品（ところざわ学園） ・施設外作業：タミー食品（段ボール組立て、シール貼り） ・店舗売上向上に向けた取り組み ◇店舗名掲示（事業所フェンス）	(1) 生活介護事業 施策：安定した作業の提供と供給 内容 ・自主製品の販売 ・下請け作業 ◇タオルたたみ（NRS） ◇リサイクル分解（みづばち） ◇菓子箱組立て（ぼんぽこ） ◇株式会社シーエルビー ◇一般団法人 みらい図 ・平均支給金目標：3,000円/月 (2) 就労継続支援B型 施策：施設外作業の定着 内容 ・施設外作業の安定した継続実施（タミー食品） ・飲食店営業（団子） ・地域イベントへの積極的参加 ・新規出店機会の確保 ・店舗前 日除け幕の新調 ・他店団子屋の見学の実施 ・生地の見直し（固さ） 年間売上目標：3,000,000円/年
---	---	--	---

2	活動支援 (3) 共通計画 施策：月 1 回の施設イベントの提供 内容 ・利用者部会（季節のお茶会）（4・9・1月） ・日帰り外出（生活介護）（5・7・10・2月） ・スポーツイベント（6月） ・活動公開（6月） ・夏を楽しむ会（8月） ・法人祭（11月） ・クリスマス会（12月） ・作業報告会（3月） ※一部他事業所交流あり ※状況により代替え、時期変更 ・運動機会の提供 ◇下請け作業終了後、散歩活動の取り組み	・施設見学：2月実施 一般社団法人 虹のち晴れ (ニジハレ食堂) ・団子製造、販売マニキュアル見直し実施 ・年間売上実績：2,873,933円 ・年間平均支給額：21,883円 【課題】 ・施設外作業の定着 ・新規利用者の獲得 (3) 共通計画 【実績】 ・利用者部会（季節のお茶会）（4月・9月・1月（二十歳の集い）） ・日帰り外出（生活介護）6月：うどん打ち体験 7月：川の博物館 10月：乗馬体験 11月：うどん打ち体験 ・合同ボウリング大会（6月） ・活動公開（6月） ・夏を楽しむ会、プール（8月） ・法人祭（11月） ・クリスマス会（12月） ・作業報告会（3月） ・藤の実会通所事業所合同見学会実施 ・特別支援学校公開参加 ・実習生の受入れ（8月 2名）	平均工賃目標：18,500円/月 埼玉県工賃向上計画の目標金額 16,500円/月 ※3か年計画である第8期埼玉県障害者支援計画及び時期埼玉県工賃向上計画における工賃を向上させるために、各事業所が3年間の目標と具体的な取り組みを定めた計画 (3) 共通計画 施策：充実した活動の提供 内容 ・利用者部会（季節のお茶会）（5、1、2月） ・日帰り外出 生活介護（7、10、11、12月） ・合同ボウリング大会（6月） ・夏を楽しむ会（8月） ・法人祭（11月） ・クリスマス会（12月） ・納会（3月） ・活動公開（6月） ※一部他事業所交流あり ※状況により代替え、時期変更 ◇新規利用者獲得に向けた取り組み ・藤の実会通所事業所合同見学会 ・特別支援学校公開参加
---	---	--	---

	※下請け作業量により判断 ◇新規利用者獲得に向けた取り組み ・藤の実会通所事業所合同見学会 ・特別支援学校公開参加 ・実習生の受入れ		
3	健康	施策：適度な運動、ストレッチ時間の導入 内容 ・タオル・分解物の運び ・食事の運搬（準備・下膳） ・月1回の運動（散歩）日の設定 ・ストレッチ習慣 ◇朝礼時に、肩周りのストレッチ実施 ・関係者、関係機関との情報共有 ◇8・2月（モニタリング時期） ・記録分析、健康情報の共有 ◇月1回の体重管理、看護師との情報共有 ・健康講話（偶数月第4木曜） ・歯科講話（年1回） ・健康診断（利用者・職員） ・嗜好調査の実施（10月）	【効果】 ・生活介護1名契約（4月） 【実績】 ・適度な運動 ◇タオル、分解物、ばんご箱の運び（階段昇降） ◇食事の運搬 ◇朝礼時のストレッチ（腕、肩周り） ◇散歩活動 月2回（生活介護） ・月1回の体重管理、看護師との情報共有 ・健康講話（偶数月第4木曜） ・歯科健診：（11月） ・健康診断：職員（7月）、利用者（12月） ・嗜好調査の実施（10月） ・手洗いチェッカーの実施 - 職員、就労B型利用者：（12月） 【効果】 ・利用者の健康状態の把握・共有 ・変化への早期対応 ・体重減少（29人中13人） 【課題】 ・体力、生活リズムの維持
		施策：利用者の健康維持に着目した内容を提供 内容 ・食事の運搬 ・下請け作業物の運搬 ・朝礼時のストレッチ（腕、肩周り） ・散歩活動（生活介護）日の設定 ・月1回の体重管理、看護師との情報共有 ・健康講話（偶数月第4木曜） ・歯科講話（年1回） ・健康診断（利用者・職員） ・嗜好調査の実施	・実習生の受入

4	環境	施策：安定した質の高い福祉サービスの継続 内容 ・満足度調査の実施（11月） ・職員間の連携向上の体制作り	【実績】 ・満足度調査の実施：11月 ◇結果をまとめ、職員間で共有 ・職員間の連携向上の体制作り 【効果】 ・満足度調査実施による、ご家族からの率直な意見の把握 ・職員の業務の偏りが無い振り分けを書面化することで、全体の業務遂行がスムーズだったと実感 【課題】 ・フィードバックの徹底	施策：安定した質の高い福祉サービスの継続 内容 ・満足度調査の実施（11月） ・関係機関（グループホーム、ふじいろ）との連携強化 ・落ち着いた作業環境の整え
5	人材育成	施策：職員のスキルアップ 内容 ・各種委員会への参加 ・研修会への参加（内部・外部） ◇障害特性の理解を深める研修 ◇制度の理解を深める研修 ◇衛生・健康の理解を深める研修 ◇技術向上・資格取得に関する研修 ・サポーターズ・カレッジの活用（動画研修）	【実績】 ・各種委員会への出席 ・サポーターズカレッジ（動画） ◇意思決定支援について ◇防災対策研修：「初動動作について」 ・自立支援協議会 ◇生活介護連絡会議（12月） ◇就労事業所連絡会議（2月） ◇研修部会（10月・3月） ・法人内内部研修 ◇虐待防止研修：12月、1月（5名） ◇介護技術研修：2月（2名） ・強度行動障害実践研修：8月（1名） ・不応行動への基本的な対応：2名 ・食の安心ポイントセミナー：1名	施策：職員のスキルアップ 内容 ・各種委員会への参加 ・研修会への参加（内部・外部） ◇障害特性の理解を深める研修 ◇制度の理解を深める研修 ◇衛生・健康の理解を深める研修 ◇技術向上・資格取得に関する研修 ・サポーターズ・カレッジの活用（動画研修） ・事業所内職員 交換研修（5月）

		・サービス管理責任者基礎研修：1名 ・防災炊出し訓練：9月 ・感染症対応、対策研修：12月 ・衛生推進者研修：2月（1名） ・感染症訓練に伴う訓練：3月
--	--	--

令和 7 年度 事業報告

指定障害福祉サービス事業所 きらめき

○中長期の課題：施設情報の発信と新規利用者の確保

○令和 7 年度の目標：個別ニーズ対応の充実

○メインテーマ：「おかげさまで 5 周年」

○中長期の課題：施設情報の発信と新規利用者の確保
○令和 8 年度の目標：個別ニーズ対応の充実
○メインテーマ：社会参加

	項 目	令和 7 年度事業計画	令和 7 年度事業報告	令和 8 年度事業計画
1	個別 支援 計画	施策：個別支援計画の充実 内容 ●記録システムへの移行準備 ◇個別支援計画表、モニタリング表 書式変更への対応	●個別支援計画の充実 【実績】 ・モニタリング 18 名実施 ・保護者面談 18 名実施 【効果】 ・個別支援計画の確実な実施 【課題】 ・記録の効率的な活用	施策：個別支援計画の充実 内容 ●記録システム導入 ◇記録の充実、効率化 ◇個別支援計画の充実 ◇モニタリングの充実
2	活動 支援	生活介護事業 施策：個別ニーズに応える活動の提供 内容： ●生産活動の安定継続 ◇ポスティング ◇段ボール印字・組立 ◇分解	●個別ニーズに応える活動の提供 【実績】 ・従来の生産活動の安定継続に加え、 株式会社シーエルビーと業務委託契 約を締結。 ・タミー食品への施設外就労週 2 回に増加 ・利用者支給金	施策：生産活動の充実 内容 ・分解 ・ポスティング ・内職（シール貼り、封入） ・外部就労（段ボール組立） ・支給金目標：平均 3,000 円／月

	◇支給金目標：平均 1,500 円／月 ●有酸素運動の強化 ◇ウォーキング ◇エアロビクス ●娯楽性のある活動の提供 ◇ダンス（多彩な楽曲・南中ソーラン） ◇メディテーションタイム ◇制作（展示物・小物製品） ●年間行事の実施 ◇スポーツイベント（6月） ◇5周年記念イベント（10月） ◇法人祭（11月） ◇クリスマス会（12月） ◇納会（3月） ●継続的な情報発信 ◇特別支援学校との連携（説明見学会） ◇保護者交流会（行事参加・運営報告） ●継続的な利用者確保 ◇積極的な実習生の受入	平均 2,377 円／月 【効果】 ・支給金増加 前年比 214% 【課題】 ・利用者の作業能力向上 ●運動活動 【実績】 ・週5日多彩な運動プログラムの提供 【効果】 ・運動機能の維持向上 ・メディテーションタイムによる情緒安定 【課題】 ・一人一人に合った運動プログラムの提案 ●年間行事の実施 【実績】 ・4月：航空公園花見 ・5月：ミニクリエーション ・6月：合同ボウリング大会 ・7月：夏を楽しむ企画（アイス作り） ・8月：創作ダンスオーディション ・10月：5周年記念行事 ・11月：法人祭 ・12月：クリスマス会 ・1月：20歳を祝う会 ・2月：節分 ・3月：納会 【効果】 ・利用者の登所意欲向上	施策：活動の充実 内容 ●運動療法の導入 ・外部講師と契約（週1回） ・個別プログラムの作成 （個々の身体能力に合わせたプログラム） 内容 ●クラブ活動導入（週2回） ・運動部 （ダンス班、陸上班、ウォーキング） ⇒法人祭、市民フェスティバル、マラソン大会等参加 ・創作部 （行事・季節の飾りつけ、フラワー等） ⇒作品展への出展 施策：季節ごとの施設行事の充実 内容： ① 花見（4月航空公園） ② 外出（3グループにて実施予定5月） ③ ボーリング大会（6月） ④ セタ（7月） ⑤ 夏を楽しむ会（8月） ⑥ 活動公開（9月） ⑦ ハロウィン（10月） ⑧ 法人祭（11月）
--	---	---	--

		●継続的な利用者確保 【実績】 ・入間わかかさ事業所向け説明会参加（職員 4 名参加） ・入間わかかさ進路フェア参加（職員 1 名参加） ・法人通所施設合同見学会（11 組） ・特別支援学校学生保護者見学（6 組） ・特別支援学校より実習生 3 名受入れ ・利用者満足度調査実施（11 月） 【効果】 ・令和 8 年 4 月から 1 名新規利用者予定 ・支援学校教員と情報交換により学校、生徒、保護者のニーズ把握信頼関係の強化 【課題】 ・効率的な送迎コースの検討	●クリスマス会（12 月） ●20 歳を祝う会（1 月） ●節分（2 月） ●納会（3 月） 施策：新規利用者確保 内容 ◇目標⇒新規利用者 2 名確保 ◇積極的な実習生の受入 ◇特別支援学校との連携（説明見学会） ◇保護者交流会（行事参加） ◇施設報の発行（毎月） ◇利用者満足度調査（11 月）
3	健康	施策：精神衛生、健康維持の促進 内容： ●行動障害のある利用者へのアプローチ ◇個別スケジュールの提供 ●肥満傾向の利用者へのアプローチ ◇計画的な運動活動時間の確保 年間目標：体重維持～-2 kg を目標 ●機能維持のための個別運動プログラム	施策：精神衛生、健康維持の促進 内容： ●運動面のアプローチ ・個別運動プログラム（運動療法導入） ・ラジオ体操の実施（朝礼時） ・ウォーキング、エクササイズ ●行動障害のある利用者へのアプローチ ・見通しを持てる活動計画（週間予定表作成） ●健康面のアプローチ ・健康診断（年 1 回）

			【効果】 ・行動特性のある利用者の外出時における安全確保、精神衛生 ・心身の向上、体重増減コントロール ・個人の体力に合った運動を提供 【課題】 ・一人一人の運動能力に合わせたプログラムの提案	・歯科検診（年１回） ・医師による講話（年６回） ・感染症についての研修の実施（年１回以上） ●栄養管理 ・食事状況の把握継続（嗜好調査・食事状況調査：各年１回）	
4	環境	施策：環境整備 内容 ●行動障害のある利用者へのアプローチ ◇個別利用空間確保の検討試行 ●危険箇所の継続把握（毎日） ●計画的修繕 ・ロールカーテンの設置（３階）	●環境整備 【実績】 ・月１回～３回、登所日に合わせてパーソナルスペースで作業を提供 ・転倒事故ゼロ ・豪雨時２階壁際水漏れ修理 ・３階窓目隠しシート施工 ・安全な送迎車運行体制整備 ・車両入替（キャラバン⇒セシナ） 【効果】 ・安全な活動環境確保 ・効率的な修繕 ・安全な送迎業務、職員の負担軽減（無事故） 【課題】 ・集中できる作業環境再検討（作業部屋）	施策：環境整備 内容 ・作業室の効果的かつ効率的な活用検討 ・公用車の適正管理（送迎３便体制） ・危険箇所の継続把握（毎日） ・記録システムの導入 ・業務効率化（連絡帳の電子化検討） 施策：災害対策 内容 ・備品や非常食の点検（年２回） ・災害対策計画の周知（職員） ・災害対応マニュアルの見直し（適宜）	

5	人材育成	施策：職員のスキルアップ 内容： ・計画的な研修会への参加（内部・外部） ◇研修プログラムの活用	●職員のスキルアップ 【実績】 ・自立支援協議会生活支援部会参加（2回4名） ・研修動画サポーターズカレッジ活用 虐待防止、身体拘束、通所施設のBCP、感染症対策意思決定支援（全職員受講） ・成年後見人制度研修参加（1名） ・ハラスメント防止研修（3名） 標準的な支援について～行動障害～（2名） ・介護技術研修（2名） ・差別解消研修（3名） ・安全運転研修（10名） 【効果】 ・職員の専門性向上 ・日々行っている支援の検証・改善 【課題】 ・職員のスキルアップ	施策：職員の支援スキルアップ 内容： ・研修会への参加（内部・外部） ・施設見学（支援学校、他施設） ・生活介護連絡会参加（年2回） ・権利擁護研修（虐待防止・身体拘束） ・障害特性研修（行動障害・意思決定） ・制度の理解を深める研修（成年後見） ・ハラスメント研修 ・BCP研修 ・労務管理研修 ・介護技術獲得のための研修 ・安全運転研修（全員） ・動画視聴研修プログラムの有効的な活用
---	------	---	--	---

令和 7 年度 事業報告

ふじいろ

○中長期の課題： 事業所情報の発信と安定した運営体制構築

○令和 7 年度の目標： ニーズに合わせたサービス提供

○メインテーマ： 新たな楽しみを発見しよう！

○中長期の課題： 事業所情報発信と安定した運営体制構築
 ○令和 8 年度の目標： 利用者の選択肢を広げ、安心して利用できるサービス提供の充実
 ○メインテーマ： 選べる・広がる・つながる支援

項目	令和 7 年度事業計画	令和 7 年度事業報告	令和 8 年度事業計画
1 個別支援計画	施策：個別ニーズに合わせた支援内容 ・利用者へのアセスメント強化 ・ニーズに副った情報提供 ・利用者の特性、希望に副ったサービスを提供する（プール、映画鑑賞、カラオケ、ランニング、食事外出） ・安全に外出支援を実施する。	【実績】 ・内外通所事業所、内外相談支援事業所と利用者状況を共有（毎回） ・夏学期中の熱中症対策を実施 ・希望に沿ったサービスの提供 ・プール、ららぽーと、川越散策、マラソン大会完走、映画鑑賞、カラオケ、食事外出、鉄道博物館、動物園 【効果】 ・余暇支援の充実 ・外出機会の増加 ・選択肢の充実 ・利用者の体調把握 【課題】 利用者支援の属人化	施策：個別ニーズに合わせた支援内容 ・利用者の過去利用実績の分析 ・選択肢のリスト化 ・意思決定支援と活動の充実を図る ・安全に外出支援を実施する ・車両事故、故障時に対応するマニュアルの運用、定着、見直し

2	活動支援	【実績】 ・障害児（者）生活サポート事業利用時間 682 時間（達成率 91%） ・利用件数 678 件 （通院 161 件 余暇 517 件） ・外出時の事故 0 件 ・新規利用契約者 6 名 【実績】 ・移動支援事業利用時間 669 時間（達成率 84%） ・利用件数 534 件 ・外出時の事故 0 件 ・新規利用者 1 名 【実績】 ・福祉有償運送利用回数 福祉有償運送 660 回（達成率 102%） ・車両事故 0 件 【効果】 ・利用者の余暇充実 ・ふじいろの認知度向上 ・保護者負担軽減に繋がる支援 ・外部利用者実習先送迎の実施 ・外部利用者ショートステイ先送迎の実施 【課題】 ・支援体制の強化（平日・土日・祝日） ・外部利用者に合わせた適切なオペレーションの再点検	施策：障害児（者）生活サポート事業実施内容 ・利用者・地域のニーズに応える ・目標年間利用（750 時間） ・法人内外の事業所、相談支援事業所と情報交換、共有 ・緊急対応枠の設定（新規利用者 2 名） ・多様な余暇支援の実施 ・予約から請求オペレーションの再点検 施策：移動支援事業実施内容 ・目標年間利用 800 時間） ・きらめき・ケアホームふじのみを中心に他事業所との情報交換、共有 ・予約から請求オペレーションの再点検 施策：福祉有償運送の実施内容 ・二つの高い法人内他事業所利用者への情報発信とサービス提供 施策：福祉有償運送の実施内容 ・目標利用回数（650 回） ・法人内外の事業所、相談支援事業所との情報交換、共有 ・二つの高い法人内外事業所利用者へのサービス提供（外部サービス事業所までの送迎等） ・適切なオペレーションの再点検
---	-------------	--	---

			再点検 ・事故・故障・災害フロー見直し ・事故防止の徹底
3	環境	施策：環境整備 内容 ・法人内通所事業所、相談支援事業所との連携強化 ・夏季期間中の熱中症対策の実施 ・サービス利用の平日支援体制強化 ・建物・車両等の共有使用	施策：環境整備 内容 ・法人内通所事業所、相談支援事業所との連携強化 ・夏季期間中の熱中症対策の実施 ・サービス利用の平日支援体制強化 ・建物・車両等の共有使用
4	人材育成	施策：支援力向上 内容： ・安全運転危険予知トレーニング実施（ふじいろ全職員） ・適正な職務分掌・役割分担実施 ・ふじいろ支援協議実施（6 か月に1 回） ・他法人移動支援事業所との情報交換（2 ケ所）	施策：支援力向上 内容： ・安全運転危険予知トレーニング実施（ふじいろ全職員） ・適正な職務分掌・役割分担実施 ・ふじいろ支援協議実施（6 か月に1 回） ・外出支援スキル研修実施（ふじいろ全職員） ・他法人移動支援事業所との情報交換

【課題】

- ・有償運送移送回数について、職員間で理解に差が生じる場面があり、判断基準のさらなる共有が必要
- ・外出支援スキル研修を通じ、利用者の特性に応じた声かけ・安全配慮・意思決定支援の質向上を図る

令和 7 年度 事業報告

所沢市障害者相談支援事業/埼玉県障害児等療育支援事業/指定特定相談支援事業/指定障害児相談支援事業 指定相談支援事業所「さぼっと」

- 中長期の課題：相談支援体制の強化を図る
- 令和 7 年度の目標：相談支援業務の円滑な遂行及び質の向上
- メインテーマ：他機関との連携の強化（ネットワークの構築）

- 中長期の課題：相談支援体制の強化を図る
- 令和 8 年度の目標：相談支援業務の円滑な遂行及び質の向上
- メインテーマ：他機関との連携の強化（ネットワークの構築）

項目	令和 7 年度事業計画	令和 7 年度事業報告	令和 8 年度事業計画
サービス等 利用計画 1	施策：相談支援の質の向上にむけた、連携強化 内容：利用者ニーズ把握と地域連携の強化 ・計画相談支援の新規及び更新の際に実施するサービス担当者会議を月 12 回以上実施する ・法人内通所事業所の利用促進に向けた地域ニーズの掘り起こし ・地域その他機関（地域包括支援センター）の会議に参加等を通じた顔の見える関係の構築 ・計画相談支援の定期的な面談の実施 ・収益を確保するための適正な加算の請求	【実績】 ・サービス等利用計画の作成 前年比 特定相談（18 歳以上）283 名（+3 名） 特定相談（18 歳未満）1 名（増減なし） 障害児相談 29 名（-3 名） ・サービス担当者会議月平均 8 回開催 ・法人内通所事業所に限らず入所・GH 事業所と連携を図り、相談者に的確な情報を提供 ・並木地区地域包括ケア会議に出席 ・適切な加算請求（要医療児者支援） 【効果】 ・必要時にサービス担当者会議を実施できる関係作りをしている ・適正な加算の請求 【課題】 ・適切な時期での計画相談、障害児相談支援の実施	施策：相談支援の質の向上にむけた、連携強化 内容：利用者ニーズ把握と地域連携の強化 ・法人内通所事業所の利用促進に向けた地域ニーズの掘り起こし ・地域その他機関（地域包括支援センター）の会議に参加等を通じた顔の見える関係の構築 ・計画相談支援の定期的な面談、モニタリング月 30 件以上実施 ・事業の健全化を目指すための適正な加算の請求

			・収益を確保するための適正な加算請求 ・法人内事業所利用に向けた情報提供	・所沢市自立支援協議会の委員として下記の定期的な会議の実施 ①こども部会定例会9回開催、放課後等デイサービス事業所見学会7,8月計4回（8事業所）実施、のべ49名参加 ②生活介護事業所連絡会議 2回開催 ③障害児通所支援事業所連絡会議 2回開催 ・計画相談の引継ぎにてスーパーバイズの実施 ・ピアカウンセリングを毎月1回実施 ・虐待防止センターとして通報対応。虐待防止に向けた啓発活動として、法人内虐待防止委員会にて事例から見える傾向等の情報提供 ・児者ともに委託相談の増加 ・ぶらす地域交流室有効活用に向けた発信 【効果】 ・定例会や見学会を行うことで、教育と福祉の相互理解や連携に繋がった。 ・相談支援事業所間での定期的なミーティングを通して情報提供や共有を実施 ・各種連絡会議の開催による市内事業所のネットワーク強化（生活介護事業所交流会の実施） ・定期的なピアカウンセリング実施による相談者の心理的変化、行動変容に寄与し一般就労への後押しと不安の軽減に繋げる	（1）所沢市障害者相談支援事業 施策：制度の啓発活動の推進 内容：社会資源等の情報提供及び助言 ・所沢市自立支援協議会こども部会の運営 ・所沢市自立支援協議会における各種連絡会議の運営 ・機能強化事業の実施 （対応困難ケースの支援、指定特定・障害児相談支援事業所へのスーパーバイズ等） ・研修の実施 ・ピアカウンセリングの継続的实施 ・虐待防止センターとしての対応 （虐待通報時の対応、虐待防止に向けた啓発活動）	（1）所沢市障害者相談支援事業 施策：制度の啓発活動の推進 内容：社会資源等の情報提供及び助言 ・所沢市自立支援協議会こども部会の運営 ・所沢市自立支援協議会における各種連絡会議の運営 ・機能強化事業の実施 （多問題ケースの支援、指定特定・障害児相談支援事業所へのスーパーバイズ等） ・研修の実施 ・ピアカウンセリングの継続的实施 ・虐待防止センターとしての対応 （虐待通報時の対応、虐待防止に向けた啓発活動）
2	活動支援					

		・虐待防止委員会での啓発により各事業所の支援について考えるきっかけ作り。 ・ぶらす地域交流室利用希望事業所の見学実施に繋げた。 【課題】 ・委託相談の増加ならびに複雑化への対応 ・ピアカウンセリングの相談者の状況を踏まえた人数調整および開催日程の調整	【実績】 ・訪問 528 件、外来 155 件、施設支援 26 件 ・一般就労している利用者の参加を中心に茶話会を実施。コミュニケーションをとる機会として、近況報告やゲームを実施 ・外来や自宅訪問だけでなく、本人が話をしやすい場所で面談を実施 【効果】 ・茶話会にて、参加者のコミュニケーションスキルの向上 ・放デイ見学会、こども部会を通じて施設支援の実施 【課題】 ・グループ療育の（茶話会）の方向性	【実績】 ・事業所内研修の実施、多問題ケースの事例検討 ・相談支援事業所グループスーパービジョンや一人事業所相談員による「しゃべり場」への参加 ・虐待防止権利擁護研修参加 ・成年後見に関する研修参加	
	(2) 埼玉県障害児等療育支援事業 施策：他機関との連携の強化に基づいた支援 内容：施設支援の充実 ・各事業目標件数を計画的に実施（訪問 405 件、外来 143 件、施設支援 26 件） ・参加者の意向にあわせた療育活動の計画と実施 ・幼稚園、保育園、市内小中学校、放課後児童クラブ、放課後等デイサービスなど児童を対象とした事業所への施設支援の実施	(2) 埼玉県障害児等療育支援事業 施策：他機関との連携の強化に基づいた支援 内容：施設支援の充実 ・各事業目標件数を計画的に実施（訪問 481 件、外来 125 件、施設支援 20 件） ・参加者の意向にあわせた療育活動の計画と実施 ・幼稚園、保育園、市内小中学校、放課後児童クラブ、放課後等デイサービスなど児童を対象とした事業所への施設支援の実施	(2) 埼玉県障害児等療育支援事業 施策：他機関との連携の強化に基づいた支援 内容：施設支援の充実 ・各事業目標件数を計画的に実施（訪問 481 件、外来 125 件、施設支援 20 件） ・参加者の意向にあわせた療育活動の計画と実施 ・幼稚園、保育園、市内小中学校、放課後児童クラブ、放課後等デイサービスなど児童を対象とした事業所への施設支援の実施	施策：さぼっとの課題に沿った研修への参加 内容：相談支援技術の向上と計画相談支援に必要な研修の受講 ・虐待防止や差別解消に関する研修 ・障害児相談支援専門研修 ・強度行動障害支援者養成研修（実践研修） ・医療的ケア児コーディネーター養成研修	3 人材育成

	・成年後見制度に関する研修 ・オンライン研修などの活用 ・事業所内で動画研修（サポーターズカレッジ）の視聴内容を基としたケース検討（２ヶ月に１回）	【効果】 ・専門的研修に伴う職員の知識の習得 ・朝会での意見交換を通じて風通しの良い職場環境 【課題】 ・障害児相談支援専門研修 ・強度行動障害支援者養成研修	・初任者研修・現任研修・主任研修 ・オンライン研修などの活用 ・事業所内で動画研修（サポーターズカレッジ）の視聴内容を基としたケース検討（２ヶ月に１回）
--	---	--	--